

## 県北地域

### 県北地域の 目指す 方向性

豊かな自然や都市機能、交通インフラをいかし、地域経済を支える産業の振興や多彩な交流を通じた地域活性化を図るとともに、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めます。

主要施策の進捗状況 ○目的 ●実績 ◎成果・方向性

### 主要施策1「誰もが安心していきいきと暮らせる環境づくり」

#### 【子育て世代包括支援センター支援推進事業】

○市町村が設置するセンターの機能充実と妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築

●関係機関の情報交換会（令和5年1月 管内全市町村他9機関）

市町村への個別相談対応

◎センター業務の適切な運営に資することができた。より市町村の実態に即した支援を行うため、市町村毎に訪問ヒアリングを実施する。

#### 【第三者認証GAP取得等促進事業】

○産地の信頼回復・向上

●補助金交付 36件

認証GAP取得数 76件（R4 R3比3件増）

◎補助事業の要件を緩和し、活用を促進するとともに、既取得者の維持・更新の支援や支援対象者の掘り起こしを行う。



FGAP ロゴマーク

#### 【スクールカウンセラー派遣事業】

○児童生徒のいじめや不登校等の問題行動の早期対応・早期解決

●・スクールカウンセラー（小・中学校）41名（小学校35校、中学校40校）

相談件数 14,194件

・スクールカウンセラー（高校）12名（高校17校）

相談件数 2,143件

・スクールカウンセラースーパーバイザー 2名

助言件数 小中学校 12件

◎カウンセリングを必要とする児童生徒の状況が多様化しているため、スクールカウンセラー等地区別研修会で情報共有と事例検討を行うなど、引き続き、対応の強化に取り組む。



スクールカウンセラーによる事例検討会

#### 【地域保健・職域保健連携による生活習慣病予防対策推進事業】

○生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備

●・県北地域保健・職域保健連携推進連絡会開催（2回）

・「元気で働く職場」応援事業モデル事業所への巡回支援等（2回）

・健康経営、働きざかりの健康づくりに関する情報発信（HPアクセス数前年比2.6倍）

・働きざかりの健康づくり研修会（ZOOM開催）

参加者：65名（R1比1.3倍）



「元気で働く職場」応援事業

◎地域課題に即したテーマ設定やオンライン開催により、参加者が増えた。

引き続き、開催方法などを工夫しながら取組を推進していく。

### 【食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業】

○健康課題の解決や健康教育の充実

●医師等の専門家派遣

・小学校5校、中学校2校、教職員1団体

◎肥満傾向児の出現率は、男女とも全国平均より高いことから、引き続き事業を推進。

## 主要施策2「多彩な交流を通じた地域の活性化」

### 【地域創生総合支援事業（サポート事業）】

○県民が主役となり個性と魅力ある地域づくりを推進

●民間団体や市町村等が行う地域振興の取組を支援

・補助件数 25事業

・実績額 87,477千円

◎地域の課題を踏まえ、地域の特性をいかしながら地方創生に寄与する取組を支援し、県北地域の振興につながった。引き続き、地域振興の取組を支援するとともに、事業周知の情報発信を強化していく。



音楽による  
福島まちづくり

### 【定住支援カフェ事業】

○地域の人や団体とつながりを持ち、地域への愛着を深め、定住を支援

●ワークショップ 福島市：4回延べ39名、

川俣町：4回延べ18名

・フィールドワーク（福島市、二本松市）福島市：10名、

二本松市：11名

・フォローアップ座談会：7名

◎ワークショップを福島市と川俣町の2パターンで実施し、多く参加につながった。コースを拡充し、参加者の交流を深めるとともに、参加機会を増やす。



まち歩き（飯坂温泉）

### 【広域的連携による交流イベントの実施】

○隣接他県と連携し、近隣観光（マイクロツーリズム）の需要取り込みを図る。

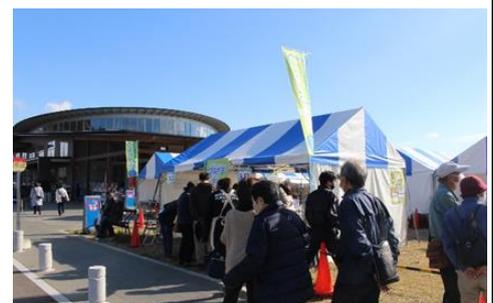
●観光や特産品等をPRする交流イベントを実施

・令和4年11月5日（土）～6日（日）

道の駅ふくしま

・来場者数：5,773名

◎集客が多かった飲食ブースを増やし、飲食・休憩スペースを設置するなどにより、更に多くの人へ地域の魅力をPRすることで、交流人口の拡大につなげる。



交流イベント「つながるフェスタ」

### 【親子で体験！里山の魅力ふれあいプロジェクト】

○若い世代に過疎・中山間地域への愛着形成を図る

●・使い捨てカメラを使用した桃畑ワークショップ

参加者：親子9組 21名

・オリジナルグラノーラづくり

参加者：午前の部 8組（小学生12名、保護者9名）

午後の部 8組（小学生10名、保護者8名）

◎ワークショップを通して、子ども達の地域の魅力への気付きや地域への愛着の形成につなげることができた。

引き続き、親子参加型のワークショップを通じて地域の魅力に触れる機会を増やす。



グラノーラづくり

### 【こらんしよ農家民宿・里山魅力向上事業】

○農村地域における人材の確保・育成や農業・農村の活性化

●・コロナ感染防止対策を踏まえた受入体験プログラムを再構築

・モニターツアー開催により、農家民宿での農業体験や意見交換会を実施。

実施日：12月17日（土）～18日（日）

実施場所：二本松市

参加者：首都圏の大学生等14名

・ツアー後、受け入れ先農家民宿、委託先旅行会社を交えた成果報告会を開催し、アンケート結果を基に改善策を整理（実施日1月24日）。

◎課題と改善策を整理し、一年を通じた体験ツアーの足かがりをつくることができた。今後は、女性の活躍による農山村地域の活性化を目指し、農村交流や地域作りで活躍する女性に焦点を当て、その成果を広く周知する。



農家民宿モニターツアー

## 主要施策3「地域経済を支える産業の振興、人材の育成・確保」

### 【次世代産業担い手・つながりづくり事業】

○地域企業の魅力や県北地方の魅力を発信し、人材育成と若者の定着を図る。

地域企業とイノベ機構のつながりを支援し、イノベ構想の波及促進に努める。

●親子体験バスツアーの実施

・ロボット体験コース（全2回）

参加者：40名（親子20組）

・空のお仕事体験コース（全2回）

参加者：32名（親子16組）

イノベ企業訪問バスツアーの実施

・ロボットコース・SDGsコース（各1回）

参加者20社24名

◎親子体験ツアー参加者からは、地域企業に対する興味・理解が深まり、県内で働くことを

意識したなどの満足度の高い声が多くあったことから、コース数の拡充及び参加人数の増加等を図る。また、イノベ企業訪問ツアー参加企業からは、イノベ構想への参入検討のきっかけとなったという声があったことから、今後は企業訪問による個々の企業のニーズ等を調査し反映する。



親子体験バスツアー

### 【専門高校生による小中学生体験学習応援事業】

○児童生徒のキャリア教育の推進

- 講師校 福島商業高校・福島工業高校  
体験校 梁川小学校、平野中学校

◎引き続き、専門高校の生徒が講師となり、小・中学生の体験学習を行う。また、実施校数を増やし、高校生及び小中学生がそれぞれの体験を通じ、自己実現に向けた意識の向上が図られるよう取り組む。



高校での中学生体験学習

### 【県北地方人材確保・働き方支援事業】

○高校生に地元中小企業の魅力を伝え、若者の定着を図る。

- ハンドブック「ジモトヒカル」の作成・配布と掲載企業の紹介動画の配信  
・作成部数：5,500部

配布先：高校 22校（高校1年生及びその保護者）等

◎卒業後に就職を希望する生徒だけでなく、進学を希望する生徒に対しても情報発信ができた。引き続き進路に関わらず、全高校生等を対象とした内容とし、更にニーズに沿った掲載内容に充実を図る。

### 【ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業】

○新規就農者の確保・育成

- 県北地方の新規就農者 96名（R4）

◎引き続き、県北地方新規就農者等確保・育成連携会議や新規就農相談会、新規就農者向け研修会などを開催し、新規就農者の確保育成を図る。また、新たに設置された福島県農業経営・就農支援センターと連携し、就農・定着から経営発展まで一貫した支援を展開する。



就農相談会

### 【6次化商品販路拡大事業】

○地域産業6次化を推進

- 交流会や6次化商品チャレンジ販売会の開催

県産くだもの等の消費拡大を目的とするフル活キャンペーンを実施

- ・フル活キャンペーン応募者数 96名

◎引き続き、「けんぼく6次化ミーティング」の活動を支援するとともに、キャンペーンによる地域特産品創出活動を行う。また、SNSを活用して地域特産品の広報活動を強化する。

## 主要施策4「災害に強く、持続可能な生活を支える基盤の整備」

### 【ふくしま復興再生道路整備事業(国道114号、国道349号)】

○安全で安心な車両交通環境の確保や利便性の向上

- ふくしま復興再生道路（県北管内）の整備が令和5年3月に完了

・国道114号及び国道349号

◎現道拡幅や急カーブの解消などにより、安全で安心な車両交通環境の確保や通行時間の短縮など利便性の向上が図られた。



ふくしま復興再生道路（国道349号大綱木工区）

### 【広域的な連携・交流を支え県土の活力を高める道づくり（県道上名倉飯坂伊達線）】

- 県北地域の自然豊かな地域資源を結び県内外の広域交流を促進
- 現道拡幅やバイパス整備に必要な用地買収を進め、着工に向けての準備が進捗
- ◎ 東北中央自動車道へのアクセス道路として、福島大笹生IC周辺の県道上名倉飯坂伊達線（大笹生2工区）の現道拡幅やバイパス道路を整備する。

### 【河川流域総合情報システム事業（命を守る情報発信の強化）】

- 迅速な避難を促し地域住民が命を守る行動ができるよう、情報発信を強化
- ・ 危機管理型水位計設置 95 基設置完了（計画 107 基）  
・ 河川監視カメラ設置 58 基設置完了（計画 73 基）
- ◎ 地域住民の避難判断や避難経路決定に有益な情報の発信強化に繋がった。引き続き、危機管理水位計を6基、河川監視カメラを8基設置する。

### 【浸水想定区域図の作成】

- 迅速な避難を促し地域住民が命を守る行動ができるよう、情報発信を強化
- 浸水想定区域図 水位周知河川 15 河川すべてと小規模河川 1 河川の結果を公表  
新たに小規模河川 11 河川の区域図を作成
- ◎ 情報発信の強化が図られるとともに、市町村のハザードマップ作成に向けた基礎資料として供することができた。引き続き小規模河川 11 河川の公表に向けた協議と3河川の区域図を作成する。

### 【消防団員入団促進事業】

- 消防団員の確保
- 市町村、消防団と連携して、管内の8事業所に対して要請活動を実施  
消防団員入団促進に係る消防庁作成ポスター、リーフレットを管内の事業所（約3,700カ所）等へ配布
- ◎ 関係者の情報共有と意識の高揚が促進された。  
引き続き、市町村、消防団と連携して、管内事業所等に対する要請活動や広報活動を効果的、効率的に実施する。



要請活動

### 【土砂災害防止対策事業】

- 地震や豪雨等により発生する土砂災害から県民の命・財産、生活や経済活動等を守る
- 要配慮者利用施設のある要対策箇所 42 カ所(18 カ所は既に完了)のうち5カ所の対策工事のための測量設計と2箇所の対策工事を進めた。
- ◎ 引き続き要配慮者利用施設のある対策箇所6カ所の対策工事のための測量設計と3カ所の対策工事を進める。また、福島市の東八川の対策工事を進める。

### 【農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業、ため池整備事業ほか）】

- 耐震性の向上、豪雨による決壊の防止、洪水調節機能の付与・増進
- 大玉村大山の荒池において工事に着手（工期：R4～R6、R4は仮堤体の築立）
- ◎ 荒池において改修工事の進捗を図る（工期：R4～R6）。また、桑折町成田の成田溜池において事業に着手する。

## 地域の主な課題

## 地域懇談会(地域住民)の意見

## 今後の方向性

### 課題1 安全で安心な暮らしの確保

- ①安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ②不登校やいじめ対策など、学びのセーフティネットの充実

- ①近くから産院が無くなり、安心して出産できない地域が出ている。
- ②子どものメンタルヘルスへの理解、早期発見や対処スキル獲得など、ソーシャルアクションが重要。

- ①産科医の人材育成を担う福島県立医科大学と協力しながら、産科医の確保に努める。
- ②医療、福祉、教育、行政などの関係機関が連携し、相談体制を構築する。

### 課題2 人口減少社会における地域の維持・活性化

- ①人口の減少や高齢化の進行による地域活力の低下への対応、地域コミュニティの維持
- ②自然・食・温泉などの魅力の発信による観光・交流人口の拡大、外国人観光客の受入態勢の整備

- ①移住・定住の推進には情報発信に加え、ターゲットへの対話による呼び込みも重要。
  - ・県では移住に重きが置かれているが、定着支援の取組も重要。
- ②農作物の生産地としての魅力をまちづくりにもいかしてはどうか。

- ①管内市町村と連携し、新規就農者や転入者などへのセミナーやワークショップ等を通じて、地域への定着を支援する。
- ②地域の飲食店と連携し、地元農産物を用いたメニュー開発などにより、産地としての魅力の向上やまちづくりにつながる取組を進めていく。

### 課題3 地域産業の振興と人材の育成・確保

- ①幅広い産業での人材育成・確保
- ②事業主の高齢化や後継者不足による廃業や空き店舗の増加、それに伴う地域経済の衰退や商業機能の低下

- ①高校生に地域の魅力や地域に多様な生き方の選択肢があることを知ってもらうことが大事。
  - ・幼い頃から福島の良さを伝えることが重要。若い世代が県外に出てしまうのは問題。
- ②経営者や担い手が減少する中でも、元気な高齢者が多く、良くも悪くもなかなか事業承継が進まない。
  - ・大手スーパーやドラッグストアに人が流れ、小規模事業者や個人商店が苦戦している。

- ①小中学生が地域企業や地域の魅力に触れる機会、高校生が地域の多様な働き方を知る機会等を設けるなど、若い世代が地域の良さを知り、愛着を深める取組を進める。
- ②地域や事業者等の実情を丁寧に伺いながら、関係団体と連携し、それぞれが抱える課題に応じて適切な支援につなげる相談体制や空き店舗活用の補助などにより、中心商店街のにぎわい創出などを支援していく。

### 課題4 持続可能な生活を支える環境の整備

- ①復興・創生を支え、新たな交流を生み出す道路ネットワーク、地域生活を支える道路整備
- ②大規模な自然災害に対応する地域防災体制の維持、市町村と連携した情報発信

- ①②中山間地域の集落を支える負担が大きくなることが予想されるため、コンパクトシティへの取組を進めていくべき。

- ①②生活空間としての都市の魅力の向上や、持続可能な社会の実現に向けて、引き続き、市町村と連携し、コンパクトな都市づくりを支援・促進していく。

# 地域の名称 県 中 地 域

県中地域の  
目指す方向性

こおりやま広域圏の地理的優位制と高いポテンシャルをいかし、新たな未来を創る産業の創出・集積、農林水産業の高付加価値化、担い手の育成を進め、本県経済をけん引する産業の振興と郷土愛を育む魅力あふれる地域づくりを進めます。

## 主要施策の進捗状況

### 【施策1】「災害の克服、安全で安心して暮らせる地域社会の形成」

#### 【道路ネットワークの構築】

- ◆ 災害に強く、復興を推進する道路ネットワーク構築を実現するため、道路の整備・改良による機能強化を図る。
  - ・ 国道 288 号船引バイパス 2 工区一部供用開始  
〔R4 目標 75% 実績 75%〕
  - ・ いわき石川線石川バイパス 1・2 工区  
〔R4 目標 80% 実績 80%〕



いわき石川B P

#### 【災害に強いまちづくり】

- ◆ 大型台風・豪雨災害等の防災・減災等に向け、河川施設・橋梁の復旧・維持管理や長寿命化を進めるとともに、防災・減災に関する意識啓発や防災情報の提供など災害に強いまちづくりや地域の防災力向上等に取り組む。
  - ・ 逢瀬川（郡山市）築堤護岸工事 〔R4 目標 97% 実績 97%〕
  - ・ 谷田川（郡山市）河道掘削工事、堤防補強工事 〔R4 目標 80% 実績 80%〕

#### 【被災農林業者等への支援】

- ◆ 新たな経営・生産方式の導入など、被災した農林業者等への支援と生産基盤の復旧を図る。
  - ・ 営農再開支援事業…生産組織による地域の水田管理への支援、鳥獣被害防止の取組、公共牧場の再生利用支援。  
〔R4 営農再開面積割合 目標 53% 実績 59.7%〕

#### 【健康長寿ふくしま推進事業】

- ◆ 生活習慣病予防・介護予防の推進を図り、健康長寿社会に向け、住民の生活習慣の改善につながる効果的な健康づくりを推進する。
  - ・ 元気で働く職場応援事業 〔R4 事業所訪問回数 5 回〕
  - ・ 健康長寿サポーター育成 〔R4 3 回、82 名参加〕

指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
健康寿命 男性	目標値				73.28	73.57	73.86	74.15	74.44	74.73	75.02	75.31	75.60
	実績値	72.28											
	単位 (歳)	72.28			73.28								
女性	目標値				76.25	76.45	76.65	76.85	77.05	77.25	77.45	77.65	77.85
	実績値	75.37											
	単位 (歳)	75.37			76.25								



健康長寿サポーター養成講座

#### 【不登校・いじめ等対策推進事業】

- ◆ 子どもたちの権利が尊重される社会の形成と豊かな人間性を育む学びの場の確保を図る。
  - ・ SSR（スペシャル・サポート・ルーム）を設置。  
不登校児童生徒の学習機会の確保ときめ細かな支援を実施 〔R4 SSR 設置状況：4 校〕

**【施策2】「こおりやま広域圏の広域連携による多彩な地域資源を活用した交流人口拡大、関係人口の創出、移住・定住の推進」**

**【福島空港利活用促進】**

- ◆ 空港利用促進につながるイベントを実施した。  
〔R4 「空の日」フェスティバル実施 約 8,000 人来場〕



空の日フェスティバル

**【広域観光の推進】**

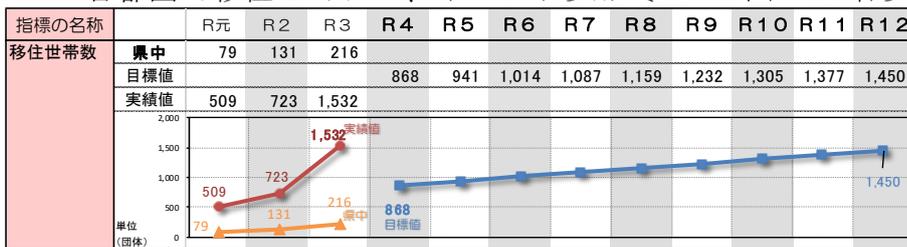
- ◆ ロードバイクを活用した誘客事業を行い交流人口の拡大を図る取組を行った。
  - ・ サイクリングモデルコース PR 動画作成〔R4 46,600 回再生〕
  - ・ ロードバイクを楽しむ人達を歓迎する施設〔R4 70 施設〕
  - ・ ふくツーフォトコン、スタンプラリー〔R4 1,019 件参加〕



R-pit (ロードバイク)

**【移住・定住の推進】**

- ◆ ふくしまならではの「新しい働き方・暮らし方」を体験する短期移住プログラムを実施したほか、首都圏での移住セミナーの開催等により移住・定住の推進、関係人口の創出につながる取組を進めた。
  - ・ 短期移住体験プログラム〔R4 51 名参加〕
  - ・ 首都圏で移住セミナー、イベント参加〔R4 5 回 65 名参加〕



移住セミナー（東京）

**【地域づくり活動への支援】**

- ◆ 地域活性化への取組、地場産業 6 次化等の取組を支援する。
  - ・ 地域創生総合支援事業（サポート事業）〔R4 47 件採択〕
 <主なサポート事業>
  - ・ 「33 万人の YouTuber で郡山市を盛り上げよう」  
初心者向け動画制作セミナーの開催や、情報交換・交流会
  - ・ 「体験型ワークショップを通じた地域を担う人づくり事業」  
小屋づくりワークショップの開催、田村高校と連携した苗づくり活動
  - ・ 「平田村 6 次化商品開発」  
いんどり豊かな西洋野菜を使ったピクルスなどの 6 次化商品の開発



サポート事業

**【施策3】「新たな未来を創り、地域経済をけん引する産業の創出・集積、高度産業人材等の育成・確保」**

**【産業の育成・集積と高度化支援】**

- ◆ 県内企業の技術力向上や独自技術の開発の支援、関係機関と連携して企業の有する技術の高度化・実用化研究を実施。
  - ・ ハイテクプラザ再エネ技術高度化事業〔R4 研究課題 3 テーマ〕
  - ・ 再生可能エネルギー関連技術指導事業〔R4 実技指導 6 件〕

**【産業の高度化・高付加価値化支援】**

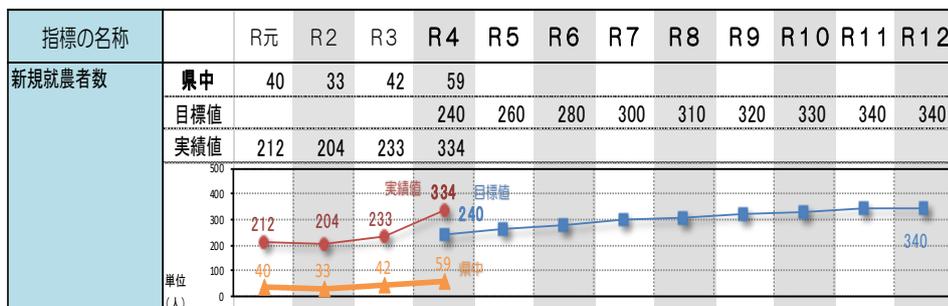
- ◆ ものづくり企業の AI・IoT 導入・活用を支援し、普及啓発から人材育成、技術支援までを一体的に実施。
  - ・ AI・IoT 技術研究会〔R4 技術相談・指導等 35 件、企業内導入・活用実績 2 件〕

**【高度産業人材等の育成・確保】**

- ◆ 地域産業の発展を支える技能者の育成、技術革新に対応できる産業人材の育成を図るため、高度職業訓練を実施。
  - ・ テクノアカデミー郡山〔R4 入学者計 57 名、就職率 100%〕

**【新規就農者・認定農業者の確保・育成】**

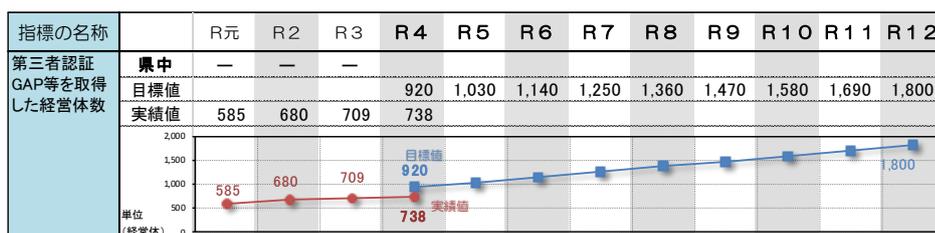
- ◆ 地域農業の新たな担い手を確保・育成するため、就農希望者への相談対応や就農相談会の開催、技術の習得支援等を実施。
  - ・ 新規就農者数〔R4 59 名〕
- ◆ 新規認定の個別推進、認定農業者へのフォローアップと再認定を支援。
  - ・ 認定農業者数〔R4 1,668 件〕



就農相談会

**【第三者認証 GAP 取得等促進事業】**

- ◆ 認証GAPの推進など「ふくしまならでは」の高付加価値化による産地競争力の強化を図る取組を進めた。
  - ・ 認証GAP取得件数〔R4 58 件〕



認証GAP

**【施策4】「地域に対する誇りと愛着を育む魅力あふれる地域づくりと生活基盤の実、担い手の育成」**

**【ふくしまならではの品種開発】**

- ◆ 市場ニーズに対応した本県オリジナル品種・系統の開発と、生産技術の開発等を実施。
  - ・ 参考となる成果を公表〔R4実績 6課題を公表〕



品種選抜に向けた田植え作業

**【地域への誇りや主体性を育む教育】**

- ◆ 子どもたちが生まれ育った地域の特色や良さを理解し、郷土に対する誇りや愛着心を育む地域体験活動を支援。
  - ・ 地域発見いきいき体験事業  
〔R4 2校、延べ12回、215名参加〕



地域発見いきいき体験事業

**【地域産業6次化の推進】**

- ◆ 地域産業の6次化ネットワーク会議を運営し、事業者の育成、6次化商品の開発支援・販売促進活動を行うとともに、商品のブラッシュアップや知名度向上を目指す取組を行った。
  - ・ 6次化ネットワーク講演会の開催、PR動画公開等  
〔R4 講演会29名参加、会員数425名〕



6次化PR動画作成

**【過疎・中山間地域の振興】**

- ◆ 過疎・中山間地域の優位性やポテンシャルをいかし、課題の解決や地域の活性化、持続可能な地域社会の形成のための取組を支援。
  - ・ 地域創生総合支援事業（サポート事業）※過疎・中山間地域関係  
〔R4 一般枠・過疎中山間地域事業 12件 13,687千円〕  
〔 集落等活性化事業 1件 1,745千円〕  
〔 過疎中山間地域活性化枠・収益事業採択 2件 2,817千円〕  
〔 集落ネットワーク圏形成事業 1件 10千円〕

<主なサポート事業>

- ・ 「地域未利用資源を活用した商品開発と地域ブランド化～食料廃棄ゼロへの挑戦～」  
クラフトビールの製造過程で排出されるモルト粕を活用してパンなどの新商品を開発によるアップサイクル事業による地域経済活性化の収益を図る事業。

指標の名称	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
地域創生総合支援事業(サポート事業)のうち「過疎・中山間地域活性化枠」の採択件数	目標値			26	38	50	62	73	84	95	106	117
	実績値		15	28								



新商品開発

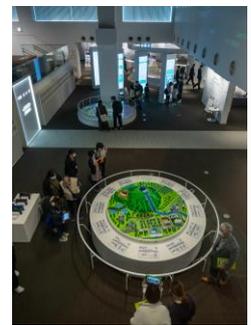
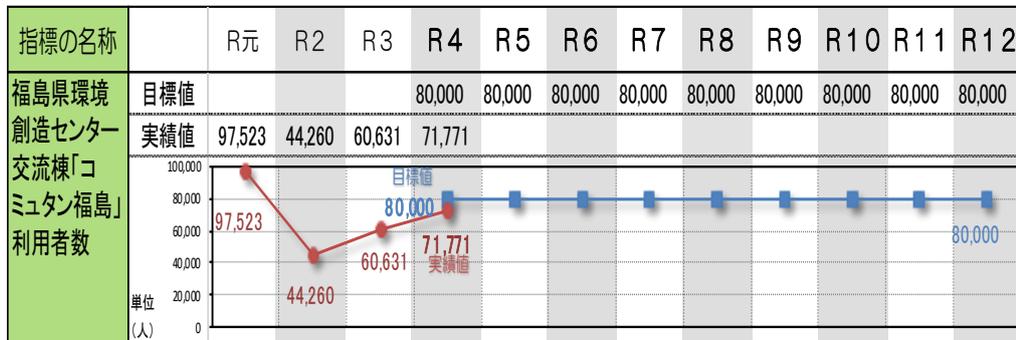
## 【施策5】「経済・社会・環境のバランスが取れた持続可能な発展を成し遂げる地域社会の形成」

### 【地球温暖化対策の推進】

- ◆ 地球温暖化対策事業への周知やSDGs及び地球温暖化に係るワークショップを実施し、関係団体に情報発信を行った。
  - ・ 地球にやさしい”ふくしま”県民会議県中地方会議  
〔R4 18団体参加〕

### 【環境に関する教育・研修・交流】

- ◆ 福島県の環境の現状や放射線に関する正確な情報の発信や教育・交流事業に取り組んだ。(令和5年3月に交流棟「コミュタン福島」の展示室を更新し、リニューアルオープン)
  - ・ 環境創造センター 〔R4 年間利用者数約7.1万人〕



環境創造センター交流事業

### 【環境と共生する農業の推進】

- ◆ 持続性の高い農業生産方式の導入計画（エコファーマー）の作成や特別栽培や有機農業等の環境と共生する農業の実践を支援。
  - ・ ASAKAMAI887（特別栽培農産物）〔R4 生産者18名、17ha〕
  - ・ エコファーマー認定〔R4 認定件数 累計1,657件〕



ASAKAMAI887 現地研修

### 【森林の整備の推進】

- ◆ 森林の有する多面的機能を維持するため、植栽や間伐等の森林整備を支援。
  - ・ 森林整備等〔R4 1,228.22ha〕



森林整備事業

## 地域の主な課題

## 地域懇談会(地域住民) の意見

## 今後の方向性

### 課題1 災害の克服、安全・安心の確保

- 防災・減災、迅速な復旧・復興に向けた取組が求められており、災害に強い道路ネットワークの構築や河川改修、施設の長寿命化等が必要。
- 高齢化社会に対応するため、効率的かつ質の高い医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築等、健康長寿に向けた取組の推進。
- 一人一人が安心ややさしさを感じ、自分らしく活躍できる環境や安心して子どもを産み育てられる環境の整備。

- 県民の安全と生活を守るため、道路整備、維持管理はしっかりと取り組んでいく必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに、高齢者の運動する機会や活動する回数が減って、筋力の低下、要介護状態につながる恐れがある。
- 高校生や高校卒業後の子どもたちに向けた居場所作りや交流の場、地域とつながる機会の創出、サポートが必要。

- 地域の安全・安心を確保し、災害に強いまちづくりを進めていくため、インフラの長寿命化対策として、施設の長寿命化や災害に強い道路ネットワークの構築を目指し、早期供用、維持修繕に取り組んでまいります。
- 市町村や民間企業等と連携し、効果的な健康づくりを県中地域全域で進め、健康長寿に向けた取組を進めてまいります。
- 地域とつながるきっかけづくりや、コミュニティ作りなど、地域で行う主体的な活動や地域づくり団体等が実施する魅力ある地域づくり・まちづくり活動を支援し、地域活性化を図ります。

### 課題2 広域連携による交流・関係人口拡大、移住・定住の推進

- 交流・移住のニーズの多様化や個性化の進展に対応するため、「こおりやま広域圏」の広域連携により、多彩な市域資源を活用し、福島空港の利活用促進、交流人口拡大、関係人口の創出、移住・定住、都市と農山村の交流促進等について、地域が一体となった推進。

- 移住後の定着を図るため、定住に対する取組を進める必要がある。移住者の就職先や起業についてのサポートがほしい。
- 「転職なき移住」を進めるうえで、DX人材の育成が必要。
- 一度県外に出でしまうと、地域の情報がなかなか入ってこない。情報のアップデートが必要。

- 移住者が地域に愛着を持って住み続けられるよう、年代や業種を超えて交流できるような機会の提供や、相談対応、就労に関する情報提供を行うなど、移住後の定着推進に取り組んでまいります。
- 進学や就職等により地域外に出て行った方に対して、SNSを中心とした地域情報の発信に力を入れてまいります。

課題3 産業の創出・集積、高度産業人材の育成・確保

○AI・IoT、ロボット技術の導入促進等、第4次産業革命により実現する超スマート社会の実現に向けた基幹技術に係る企業支援や、高度技術産業・地域産業に柔軟に対応できる人材の育成・確保。

○企業がほしい人材、労働者の就労条件のマッチングができていない。

○各企業が相乗効果を起こすための共創の場、業界の枠を超えたつながりのきっかけをつくる機会が必要。

○新規高卒者の地元就職、新入社員のミスマッチによる早期離職防止、大学進学後のUターン就職を促進するため、高校教諭等と地元企業との情報交換会や、企業PRによる認知度向上や学校と企業、地域とのつながり強化を支援してまいります。

○高度技術産業や地域産業に対応できる人材の育成・確保を図ります。

課題4 過疎・中山間地域の振興、生活基盤整備、担い手の育成

○人口減少・高齢化により、過疎化が進んでおり、地域の維持・活力向上が課題となっています。また、住民が地域に対する誇りや愛着を育む地域づくりや地域の担い手の育成。

○農山村の暮らしと環境の維持・保全。

○過疎地域では、子どもたちが経験できる場所や、モノ・コトが少ない。

○子どもたちが大人になったら、この地域で楽しいことができそうだという未来を描きやすい場所づくりをしていくことが必要。

○地域に対する愛着を内側の人にも作っていき、さらに外に発信をして、人を呼び込む循環ができるような施策が必要。

○山林を空間として利用する取組のなかで、様々な人々とのつながりや応援団が生まれた。これら山の価値を加えた形で林業の魅力を発信することができるのではないか。

○地域の資源を活かして学校や地域が相互に連携を図り、郷土に対する誇りや愛着心を育むことができるような体験の機会を提供します。

○過疎・中山間地域において、地域資源を活用した取組、地域に根差した地域づくり活動に対する支援を引き続き行ってまいります。

○林業への理解を促進するため、森林の中で働けるという林業ならではの良さを発信していくとともに、高校生の林業見学の開催などにより就業機会を提供し、人材の確保・育成を進めます。

地域の主な課題

地域懇談会(地域住民)  
の意見

今後の方向性

### 課題5 人口減少下での持続可能な社会形成

○人口減少下で持続可能な社会を形成することが課題であり、経済・社会・環境のバランスが取れた持続可能な開発（SDGsの推進）。

○生態系に配慮した河川などの整備や、環境と共生する農林業の推進。

○地方創生・人口減少に関する課題や取組に関して、子どもたちにスポットを当てた取組が必要。

○子どもたちに対して環境に関する学習支援や情報発信を引き続き行ってまいります。

# 県南地域

県南地域の  
目指す方向性

首都圏に隣接する地理的優位性や、歴史・伝統文化などの魅力をいかし、多様な人々が活躍でき、誰もが暮らしやすい持続可能な地域づくりを進めていきます。

## 主要施策

### 【施策1】地域の経済をけん引する活力ある産業の振興

#### 【(新規)首都圏からの移住推進&就職先マッチング支援事業】

〈県南地方振興局〉

県内外からの産業人材確保に向け、地域の企業の魅力や働きやすさなどの情報発信を強化する。また、多くの中小企業は、新しい働き方や価値観に対応した採用が大企業に比べて遅れており、求職者のニーズに応じた働き方を取り入れていくことが求められていることから、多様な働き方の導入に積極的に取り組む企業の支援を行う。

- ◆特設サイトにおける企業情報・求人情報の発信  
(右記サイトの全面リニューアル)
- ◆企業向けセミナー開催 (3回程度)
- ◆R4年度実績 (前身事業の実績)  
事業参画企業数 : 31社

#### 【第三者認証GAP取得等促進事業】

〈県南農林事務所〉

農林水産物の安全性を消費者や流通業者へ客観的に提示できる第三者認証GAPの取組を推進し、食材提供先や消費者に対する安全・安心な農産物の情報提供や風評払拭も視野に入れた発信を行い、震災後の消費者への信頼回復を図るため、農業者、農業団体による第三者認証GAP等の取得と継続を支援する。

- ◆R4年度実績  
GAP取得・継続支援件数 : 19件 (法人12、団体1、個人5、市町村1)

#### 【新規就農者育成総合対策事業】

〈県南農林事務所〉

担い手の高齢化や減少が進む中、若い世代の農業者の確保・育成に向け、所得の確保と就農意欲の喚起・定着を図るため、経営が不安定な就農初期(3年以内)に資金を交付するとともに、新たに農業経営を開始した認定新規就農者に対して機械・施設導入の支援を行う。

- ◆R4年度実績  
経営開始資金(就農初期の資金交付) : 新規就農者3名に交付  
経営発展支援(機械・施設導入支援) : 新規就農者3名に対し、コンバインやトラクターの導入を支援

#### (株)リクルートとの連携協定



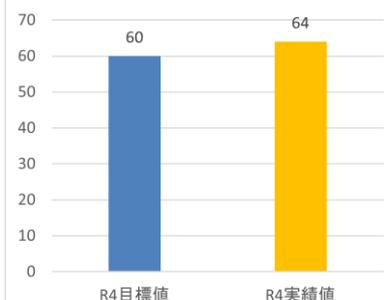
#### 企業情報等を発信する特設サイト(R4制作)



#### FGAP 認証交付



第三者認証GAP取得件数 (県南、累計)



**【施策2】 地域づくりを支える担い手の育成や多様な人々を受け入れるための場づくり**

**【“ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業】** <県南教育事務所>

自分たちの住む地域の産業、歴史や文化に触れる学習や体験活動をとおして、郷土を愛する心を育むとともに、地域人材の智恵に学びながら、人と人、人と地域の絆を大切にする豊かで優しい心を育てる。東白川郡の全小学校8校で事業実施。

◆R4 年度実績

参加児童数： 9 5 5 名

地域講師数： 6 3 名

**【(新規) しらかわスタイル関わりびと創出事業】**

<県南地方振興局>

首都圏に近いという地理的な条件を活かして、首都圏等からテレワーカーを呼び込む「テレワークタウンしらかわ」構想を令和3年度から進めている。これまで得られた関係人口や、いまだに県南地域に関わったことのない人々を対象として、「テレワークタウンしらかわ」の取組をさらに深化させ、しらかわ式の「関わりびと（より深い関係人口）」を創出していく。さらには、将来的な移住者の増加につなげていく。

◆企業等の団体向け体験・交流モニターツアー

◆動画コンテンツでの情報発信

◆R4 年度実績（前身事業の実績）

ゴルファーケーションアンバサダー：鮫川村出身の女子プロゴルファー蛭田みな美氏が就任

テレワーカー向けクーポン：地域飲食店と連携し、昼食等に利用できるクーポンを102枚発行

※ゴルファーケーション…ゴルフ場でのワーケーションを指す造語

**【地域創生総合支援事業（サポート事業）】** <県南地方振興局>

定住・二地域居住に資する事業や人口減少及び高齢化対策の推進に寄与する事業、地域資源を活用した地域振興に資する事業など、民間団体等による主体的な地域づくりの取組を支援する。令和5年度は、44事業を支援予定。

◆R4 年度実績

支援事業数： 4 1 件（補助額 1 0 4, 8 0 7 千円）

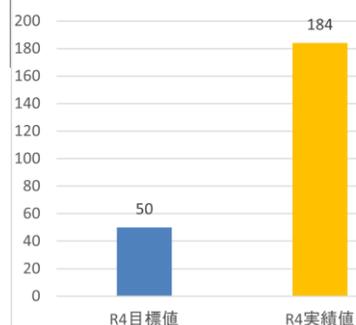
御田植祭に向けた  
講義（近津小）



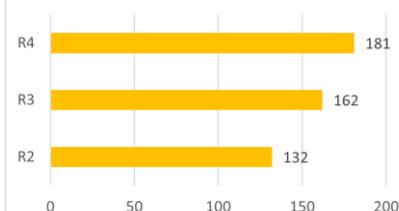
アンバサダー就任



テレワークタウン利用者数



移住世帯数推移(県南)



※R4 移住世帯 181 のうち、6 世帯がテレワークを理由とした移住

矢祭和ハーブブック  
（サポート事業）



**【施策3】地域の魅力をいかした交流の促進と広域連携による交流人口の拡大**

**【(新規) サウナヴィレッジしらかわ推進事業】** < 県南地方振興局 >

昨今一大ブームとなっており、県南9市町村全てに存在する「サウナ」をフックとして、交流人口・関係人口の拡大を図るとともに、サウナ利用者へ健康づくりの意識啓発を併せて行うことで健康増進を図る。

- ◆特設サイト及びPR動画の制作  
(県南のサウナ施設やサウナ飯等の情報を発信)
- ◆サウナ利用促進イベントの実施 (デジタルスタンプラリー等)
- ◆R4年度実績 (前身事業の実績)  
東白川郡4町村のサウナPR動画制作：再生数 11.8万回  
※サウナ飯…サウナ後にとる食事や飲み物のこと

**【ひがししらかわ地域間交流・地域づくり促進事業】** < 県南建設事務所 >

・ 県土連携軸の南部軸である国道289号等について、江竜田工区などの重点的整備や事業未着手区間の調査を進め、地域間交流を促進させることで、広域的な道路ネットワークの強化や円滑な交通確保に向けた幹線道路の整備の推進を目指す。

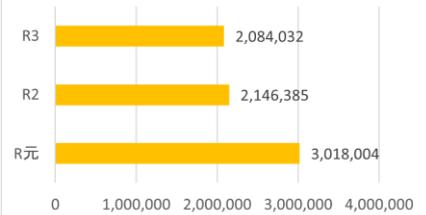
・ 交流人口の拡大や地域資源を活用した持続的成長が可能な地域づくりを目指し、久慈川桜並木活用懇談会や埴町と連携しながら、社会資本の整備を通じて、ソフト・ハード両面から地域や町の取組を支援する。

- ◆R4年度実績
  - ・ 国道289号渡瀬バイパスについて、全線供用したほか、事業未着手区間の調査を実施した。
  - ・ 埴町上石井地区久慈川環境整備について、地域資源を活用し、交流人口の拡大を図るための堤防舗装整備が完了した。

サウナ PR 動画



観光客入込数推移(県南)



渡瀬バイパス (鮫川村)



**【施策4】人々が安全・安心に暮らし続けることができるまちづくり**

**【(新規) そなえるふくしま防災事業】** < 県南地方振興局 >

独自制作する防災啓発 VR 映像や防災ガイドブック「そなえるふくしまノート」等を活用し、東日本大震災の経験や教訓を広く県民に伝え、東日本大震災の風化防止につなげるとともに、県民の防災意識の高揚を図ることで、災害から安心して住み暮らせる地域づくりを進める。

(次項へ続く)



## 【施策4】人々が安全・安心に暮らし続けることができるまちづくり

### 【“ひがししらかわ” 未来の医療を守る人材育成支援事業】

〈県南保健福祉事務所〉

・地域の子どもたちに、医療の魅力や東白川郡の地域医療の実情について学んでもらい、子どもたちの医療に対する関心を高めるとともに、自分たちが住む東白川地域において、将来果たすべき役割を考えてもらう端緒とし、将来の地域医療を担う人材育成の一助とする。（発掘未来の医療人！夏休み親子学習会）

・福島県内で働く医師確保を推進するため、地域医療に関心を持ってもらえるよう福島県立医科大学での実習とタイアップし、地域住民とのふれあいを通して学ぶことができる体験型実習を開催するとともに、地域医療担い手育成のため地域医療体験研修を実施する。

#### ◆R4 年度実績

福島県立医大生（16名）を対象とした地域医療体験研修を、矢祭町の特別養護老人ホームや塙厚生病院で実施した。（R4.9月）

地域医療体験研修



### 【治山事業】〈県南農林事務所〉

保安森内の荒廃溪流、山腹崩壊地等における森林機能の早期回復を図るため、溪間工事及び山腹工事を実施するとともに、治山事業施工地の森林の健全な成長を促進するため、保育事業を実施する。

#### ◆R4 年度実績

県営事業等により 11 地区（治山工事 9、保安林整備 2）の治山事業を実施した。

治山工事（西郷村）



### 【河川・海岸事業】〈県南建設事務所〉

・近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、事前防災対策や老朽化対策を実施する。

・河川流域総合情報システムの水位計に加え、洪水時の水位観測に限定した低コストの危機管理型水位計や、簡易型河川監視カメラの設置を推進し、水位情報の充実強化を図る。

#### ◆R4 年度実績

県南地域において、河道掘削、堤防補強、危機管理型水位計設置、簡易型河川監視カメラ設置等を実施した。

河道掘削（阿武隈川）



課題1 持続可能な産業の育成

○少子高齢化が進む中、企業の人材確保や多様な働き方の推進が求められています。

○根強い風評を払拭するため、生産・販売体制を強化して安全・安心な農林産物を引き続き供給していく必要があります。

○意欲ある農業担い手の継続した育成が求められています。

○人材の確保・育成に関して、地域企業が自分たちの魅力を発信する力が足りない。

○GAPに関しては、PR不足で消費者まで浸透していないのが実情ではないか。農家の認証取得の手間に見合ったPRをお願いしたい。

○地域外からの新規就農者に対しては、先輩農家とのマッチングや交流といった人的支援が必要。

○人材確保は喫緊の課題であるため、首都圏から地方暮らしをしたい・地元に戻りたいと考えている層を対象に管内の企業情報や魅力を県内外に効果的に発信してまいります。

○GAPの推進については、生産された農産物が消費者に浸透するよう、大手量販店等とのコラボによる商品開発を進めるとともに、GAP農産物消費拡大のイベントなどを通じた理解促進に取り組んでまいります。

○同世代や地域の先輩農業者との交流については、青年農業者クラブやJAの各生産部会への入会を勧めるなど、新規就農者が地域で孤立しないための働きかけを継続して行ってまいります。

課題2 多様な人々が活躍できる地域づくり

○地域を支える人材を育成するキャリア教育等を充実させる必要があります。

○人口減少が続く中、地域の課題解決のため、地域との新たな関わりを求める人(関係人口)を創出・拡大していくことが必要です。

○不登校や引きこもりの子どもが近年増えている。不登校等の対策は地域として面的な対応が必要。

○定住ありきではなく、地域に一度でも携わった方と、どう関係人口の形を作っていくかが重要ではないか。

○県南の全小中学校の生徒指導担当者を集め、シンポジウムを開催し、各学校での不登校対応への指導力の向上を更に図ってまいります。併せて域内に配置されているスクールカウンセラーの研修会も開催し、域内の不登校の課題がより共有できるように努めてまいります。

○一足飛びに移住ではなく、まずは県南地域を知ってもらうことが重要だと考えております。地域資源やワーケーション等をフックとして関係人口を創出するとともに、県南地域への再訪を促してまいります。

課題3 新たな交流の創出・拡大

○旅行者の様々なニーズに対応できるよう、既存の文化資源に加え、埋もれている地域資源の掘り起こしや、効果的な情報発信が必要です。

○首都圏に対する福島県の玄関口として、観光誘客や移住・定住を推進するため、南会津地域や茨城県、栃木県等の広域的な連携を促進する必要があります。

○県外や国外へ地域資源の魅力をPRして外貨を獲得することが重要。

○観光に関しては、隣接する茨城県の地域には相当数の観光客が来ている。水郡線に関して、茨城県までは乗車客が多いが、県南地域までは足が伸びないというのが現状。関東圏からの観光客を越境させるためには、もう一歩踏み込んだ取組が必要。

○県南地域の特徴的な狛犬や全市町村に存在するサウナを地域資源として磨き上げ、PR動画や特設サイトで発信するほか、地域の飲食店等を巻き込んだ取組を展開し、隣接県をはじめとした県内外からの観光誘客を図ってまいります。

○水郡線については、ローカル線の持つ美しさや魅力を県内外に発信するとともに、沿線自治体等との協議を重ねながら、観光面での利活用を支援する取組を検討してまいります。

#### 課題4 安全・安心な暮らしの確保と災害への対応

○過疎・中山間地域における医師の確保や、高齢者等が住み慣れた地域で自分らしく暮らすための地域包括ケアシステムの構築等が必要です。

○健康増進のため、地域に住む住民の健康づくりに対する意識改革が必要です。

○近年多発する大規模災害に備えるため、防災体制を確保・強化し、維持していく必要があります。

○地域医療の現場では医師はもちろん不足しているが、看護・介護の人材も不足している。子どもからお年寄りまでの交流も含め、地域全体で健康づくりに取り組んでいく必要がある。

○地域での森林伐採が多く見られ、大型重機が山に入る事等によって、河川への土砂流入の原因にもなっている。森林関係者への指導徹底をお願いしたい。

○県南地域の医療・介護の人材不足は深刻な状況であるため、今後、地域医療体験研修などの取組の更なる充実を図るとともに、医師会等関係機関と連携した人材不足対策に取り組んでまいります。健康づくりについては、引き続き計画に沿った取組を進めてまいります。

○森林の有する多面的機能を確保しつつ、適切な森林整備を進める必要があるため、森林作業道の作設に当たっては、地形や地質を考慮し、必要最小限とするとともに、排水施設などを適切に設置することで、土砂の流出、林地の崩壊に配慮した計画となるよう指導してまいります。

地域の名称 **会 津 地 域**

会津地域の  
目指す方向性

自然風土・歴史・伝統文化・産業など、会津の「宝」を最大限に  
いかし、地域連携により、光り輝く会津地域を創造します。

主要施策の進捗状況

**【施策1】 会津地域を支える担い手の育成・確保と魅力ある地域づくり**

**【地域おこし協力隊設置事業】**

地域おこし協力隊を設置し、奥会津地域の活性化やデジタル・ICT技術の活用による課題解決、後継者不足の解消と伝統産業の維持・発展を図りました。

◇奥会津地域おこし協力隊設置事業 2名

◇デジタル技術活用型地域おこし協力隊設置事業 1名

市町村職員を対象とした自治体DX推進のためのeラーニング用動画を作成しました。

◇ふるさと地域産業維持等の人材育成事業 4名

**【地域創生総合支援事業（サポート事業）】**

地域団体等が取り組む、地域特性を生かした個性と魅力ある地域づくり事業の立ち上げについて支援した。

◇採択件数 70件、実施件数 68件

**【只見線魅力再発見事業】**

JR只見線をはじめとした沿線地域の魅力の再発掘と、地域住民の郷土愛の醸成を目的として、只見線のビュースポットや歴史文化伝承施設などのスポットを周遊するARスタンプラリーを実施しました。

◇スポット設定数 51箇所（新潟県魚沼市含む。）

参加者数 589名、景品応募件数延べ606件

スポット訪問数（AR読み込み回数）12,623回

**【除雪オペレーター育成支援事業】**

新たに除雪オペレーターの育成を検討している企業へ、運転技能講習会の受講料、免許取得費の補助を行いました。

◇補助申請数5件 補助額399千円

**【会津移住者による会津暮らし魅力発信事業】**

現役世代の移住検討者を対象として、会津地域のリアルな暮らしや魅力について情報発信し、会津暮らしに興味・関心をもってもらう機会の創出を図りました。

◇会津移住者への取材 32世帯

◇首都圏における移住推進イベント3回、参加組数 延べ57組

◇SNS等による情報発信、移住推進パンフレット作成

地域おこし協力隊設置事業



（雄国根曲がり竹細工）

只見線魅力再発見事業



（ARスタンプラリーのマップ（上）と、柳津町のスポット（下））

### 【会津地域課題解決連携推進会議】

会津地域の抱える課題解決を図るため、市町村、民間組織及び県等が連携を強化することを目的に開催しました。令和4年度は、「人生100年時代、ひとつ、ひとつ、実現する会津」をスローガンに、総合計画やSDGsに基づき、自治体DX推進、移住・定住促進等12のプロジェクトに取り組みました。

## 【施策2】誰もが暮らしやすい会津地域の生活環境づくり

### 【洪水氾濫未然防止ソフト対策】

洪水氾濫を未然に防ぐため、危険管理型水位計 37 か所及び簡易型河川監視カメラ 36 か所を設置完了しました。

### 【ため池等整備事業・県営ため池等長寿命化対策事業】

農地、農業用施設等の災害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定を図るため、老朽化した農業用ため池の改修事業を2地区で実施しました。

### 【災害に強い道路の整備】

◇会津若松三島線（大谷）において、異常気象時の集落の孤立を防止するため、バイパス整備を進めています。

◇国道400号において、地吹雪による視界不良や雪崩などによる通行止めを防ぐため、スノーシェルターの設置を進めています。

◇会津坂下会津本郷線において、地吹雪による視界不良や雪崩などによる通行止めを防ぐため、防雪柵の設置を進めています。

### 【洪水被害の軽減に向けた河川整備】

平成23年新潟・福島豪雨で甚大な被害を受けた只見川の河川改修を推進しました。

◇管内20地区の内、1地区（橋立）暫定完成、1地区（横田）工区完成（高根沢）

### 【土砂災害から生命と財産を守る砂防関係施設の整備】

土石流から災害時用配慮者利用施設等を優先的に保全するため、砂防堰堤の整備を進めています。

◇水上沢（西会津町）予備設計を実施

◇慶山沢（会津若松市）付替道路工の工事実施

### 【医療従事者の確保に関する事業】

- ・地域医療体験研修

医師との意見交換や地元の消防隊員の講義を通して、参加者の地域医療に対する関心を高めるため、研修を行いました。

◇参加者 福島県立医科大学医学部3年生15名

- ・看護学生及び看護職のためのインターンシップ支援事業

◇1名（北里大学3年生）が只見町役場で研修

### 【食品中の放射性物質対策事業】

市場等に流通する食品等についての安全を確認するため、県内農林水産物等を原材料とする加工食品の放射性物質検査を実施しました。

◇検体数115検体（うち基準値を超える検体0件）

### 【地域特産活用産地づくり総合支援事業】

おたねにんじんへの関心を高めるとともに家庭での利用促進を図るため、県内住民等をターゲットとしたフェアの開催や会津地域の小中学校でおたねにんじん料理を提供しました。

◇フェア【飲食店】 26店舗で計1,024食提供

◇フェア【小売店】 12店舗で481個の商品を販売

◇学校給食：32校、延べ8,363食提供

洪水被害の軽減に向けた河川整備  
（只見川河川改修）



（細八工区：柳津町、R4.11.28撮影

開始R2年度、完成R16年度予定）



（中西部工区：金山町、R4.11.28撮影

開始R2年度、完成R11年度予定

※埋蔵文化財包蔵地、R4本調査済み）

地域特産活用産地づくり総合支援事業



（おたねにんじん入りカボチャシチューの給食：会津若松市湊）

**【生活交通対策】**

会津地方の重要な交通機関である会津線及び会津鬼怒川線の安定的な運行のための財政的支援を行いました。

また、生活路線バス運行維持や市町村生活交通対策に対する補助を行いました。

### 【施策3】新たな時代を拓く会津地域ならではの産業づくり

#### 【コロナ禍における新しい旅行スタイルでの地域の魅力再発見事業】

あいづ広域観光情報センター「いらんしょ」を設置・運営し、観光関係団体等と連携して、会津エリアを訪れる観光客に対し、広域的に周遊してもらえるよう会津 17 市町村の魅力の効果的なPRを行いました。また、中国及び台湾のインバウンド誘客推進のためインフルエンサーを活用した情報発信を実施しました。

◇来館者数 3,595 名、教育旅行対応 26 校・175 名

#### 【会津DX日新館事業】

会津地域の課題解決を目指す産学官連携の取組として、令和4年7月、会津地域13市町村、福島大学・会津大学・会津大学短期大学部及び会津地方振興局を構成機関として、「会津DX日新館」を開館しました。

各大学が市町村から提案があったテーマに基づき、会津地域をフィールドとして調査研究を行い、成果報告を行いました。

◇調査研究・成果報告テーマ 9テーマ（対象13市町村）

#### 【高校生による地元企業魅力発掘体験事業】

「会津の企業魅力発見ノート」の作成に当たり、高校で実施するインターンシップと連携し、高校生が企業の従業員へインタビューを行うことで、参加した生徒が企業の魅力を知り、地元企業や地元就職への理解を深めてもらうことができました。作成した冊子は、会津地域の高校2年生全員へ配布しました。

◇掲載企業数 30 社、高校生取材数 15 社

#### 【農林水産業への新規就業等、多様な担い手の確保】

- ・新規就農者育成総合対策事業

就農直後の機械・施設等の導入支援、就農に向けた研修資金や就農時の経営開始資金の交付、伴走機関等による研修向け農場の整備及び市町村等の就農相談員の設置等により、青年の就農意欲の喚起と定着を支援しました。

- ・ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業

就農準備から定着までの支援体制の構築、現地ツアー・農業体験及び就農相談会の実施並びに新規就農者間の交流等により総合的な支援を実施しました。

- ・担い手づくり総合支援事業

地域を担う経営体等の経営発展に必要なトラクタやコンバイン等の導入を支援しました。

#### 【会津磐梯山共創しごとづくりラボによる地域の宝磨き上げ事業】

会津磐梯山エリアの豊かな資源や多様な地域事業者のしごとを生かし、観光商品となる修学旅行の商品開発を行いました。

◇商品化 6 件

#### 【奥会津 6 次化商品販路拡大事業】

奥会津地域の事業者による対面販売を主とした販売会「奥会津物産フェア」を2回行いました。農林水産物やそれらを活用した

会津 DX 日新館事業



(成果報告会の様子)

高校生による地元企業魅力発掘体験事業



(会津の企業魅力発見ノート)

会津磐梯山共創しごとづくりラボによる地域の宝磨き上げ事業



(ザリガニカレー)

6次化商品と食、自然及び風景等の地域資源をPRしました。

◇イオンいわき店7事業者 74商品

◇イオン福島店8事業者 82商品

### 【福島県オリジナル清酒製造技術の開発】

県産酒の全体的な品質向上のため、清酒のオフフレーバー（不快臭）の低減方法の確立を目的として、オフフレーバー発生条件を特定するための分析・試験を行いました。

### 【基盤技術開発支援事業】

地域産業の振興のため、地域特有のニーズに合わせたきめ細かな支援を実施するとともに、先導的技術や独自技術の開発等に取り組みました。

◇漆製品による立体模様シートの評価(R3~R4)

◇輸入大豆の特性と味噌への加工適正評価(R3~R4)

◇漆塗料の高機能化とその活用に関する研究(R3~R5)

◇樹脂含浸と熱圧成形による木材の高耐久化(R4~R5)

### 【ふくしま観光復興人材育成事業】

コロナ禍に対応した観光復興人材を育成するため、観光商品の企画提案力の強化を図ることを目的に、浜通り地域の観光（ホープツーリズム）商品開発、アウトドア観光商品開発の研修を実施しました。また、WEB・動画等の広告価値を高める情報発信手法の習得を目的に、産業観光のVR動画制作を行いました。

### 【持続可能な社会に向けた産業教育充実事業】

地域と協働し、地域の人材や地元企業、大学等の関係機関と連携しながら地域に貢献できる産業人材とふくしまの未来を担う産業人材を育成することを目的に、小中学生と専門高校生による実習体験活動を実施しました。

◇小中学生参加状況

荒舘小 50名、緑小 15名、豊川小 26名、山都中 28名、坂下中 109名

◇専門高校生参加状況

喜多方桐桜高 29名、会津農林高 64名

### 【福島県立博物館文化観光拠点施設機能強化事業

#### 三の丸からプロジェクト】

文化観光拠点施設として博物館の部門展示室民俗やレストラン等の整備を進めるとともに、博物館をゲートウェイとして来訪者の会津地域への周遊を促す試みとして実施しました。

◇体験型プログラム（10回）

◇まちなか連携事業（春・秋）

◇雪国ものづくりマルシェ（2回 春・秋）等

### 【次世代育成支援企業認証制度】

女性が活躍しやすい職場環境づくりや、仕事と家庭の両立支援などに積極的に取り組む企業について、認証した。

◇「働く女性応援」中小企業部門3件

◇「仕事と生活の調和」推進企業部門4件

#### ふくしま観光復興人材育成事業



（産業観光 VR 動画プレビュー（上）  
と学生による作成の様子（下））

#### 福島県立博物館 文化観光拠点施設強化事業 三の丸からプロジェクト



（まちなか連携事業「歴史的建造物で  
謡を楽しむ会」）



（雪国ものづくりマルシェ：博物館前  
庭の物販コーナー）

## 【施策4】 後世に残すべき会津の宝を守りいかに取組

### 【鳥獣対策から始める持続可能な地域づくり事業】

地域の諸問題を解決する住民主体の協議会設立を支援したほか、会津大学と連携した野生生物検出システム実証事業や市町村担当者向けシステム説明会の開催、鳥獣被害対策の専門家を市町村に派遣しました。

◇小さな拠点づくり事業（西会津町奥川地区）

◇野生生物検出システム実証事業

（検出数：クマ9件、イノシシ3件）

### 【地域創生総合支援事業（サポート事業）】

地域団体等が取り組む、地域特性を生かした個性と魅力ある地域づくりや継承事業について、その立ち上げを支援しました。

◇採択件数70件、実施件数68件

### 【会津地域自然環境魅力発信事業】

磐梯朝日国立公園内の磐梯山ジオパーク再認定や越後三山只見国定公園編入等を契機とし、自然環境を始めとする会津地域の魅力を広域で発信しました。

◇アウトドアメーカー(株)モンベル、会津地域13市町村と振興局が全国初となる広域連携共同宣言を発出しました。

◇会津地域の魅力発信する巡回パネル展を開催しました。

◇報道機関の会津地域の支社長7名をパネリストとし、会津の魅力を発信するシンポジウムを開催しました。

### 【街並み景観の保全・形成と連携した道路整備】

◇国道252号七日町工区（会津若松市）において、安全で快適な歩行空間の確保、歴史的景観及び都市防災の向上、賑わいの創出を図るため、電線類地中化及び歩車道部の無散水消雪化を進めています。

◇国道459号上町工区（喜多方市）において、電線地中化工事を進めるに当たり、沿線の景観まちづくりと合わせた設計とするため、地元との懇談会を開催した。

### 【観光地のビューポイントの整備】

◇JR只見線、只見川及び国道252号において、支障木を伐採し、只見川橋梁ビューポイントを整備しました。

◇桧原湖を一周する道路（国道459号・会津若松裏磐梯線・米沢猪苗代線）において、支障木を伐採し、交通の安全と観光道路としての魅力向上を図りました。

### 【サイクリングロードの整備】

◇大川喜多方サイクリングロードの整備

芦ノ牧温泉から熱塩温泉を結ぶ会津若松熱塩温泉自転車道（大川喜多方サイクリングロード）の熱塩工区を完成し、供用開始しました。

◇桧原湖周遊コースの整備

北塩原村の作成した自転車活用推進計画を基に、桧原湖周遊コースの自転車ルートを示す矢羽（ブルーライン）の路面標示を実施しました。

鳥獣対策から始める  
持続可能な地域づくり事業



（小さな拠点づくり事業：西会津町奥川地区）



（野生生物検出システム実証事業）

街並み景観の保全・形成と連携した  
道路整備



（地元との懇談会：喜多方市上町）

サイクリングロードの整備



（大川喜多方サイクリングロード）

## 課題1 人口減少・少子高齢化への対応

移住定住の促進と交流・関係人口の拡大を図りながら、地域の活動を担う人材を育成し確保するとともに、地域全体で支え合うコミュニティづくりや未来を担う子どもたちを育む環境づくりを進めることが求められています。

また、地域の共通課題に対し、広域連携で取り組むことにより、限られた人的・財政的資源を最大限に生かすことが必要です。

○地域の魅力を伝えていくのは子どもたちだ。そのため、将来、地域に子どもたちが戻るよう、戻りたいと思えるよう、筋道を立てて会津の魅力を伝え、地元の宝と触れ合う機会を作ってほしい。

○高齢者が活躍する場を設けてほしい。

○国を挙げてDXを推進しているところであり、会津大学は会津地方だけではなく、福島県に対しても大きな影響を与える研究ができる大学なので、それを生かせる施策があれば良い。

○関係人口の流入を促進することが非常に大事だ。

○「地元を好きになる」ことを強制するのではなく、促す取組が必要ではないか。

移住・定住の促進と交流・関係人口の拡大を図りながら、地域の活動を担う人材を育成し確保するとともに、地域全体でそれぞれの世代が互いに支え合うコミュニティや未来を担う子どもたちを育む環境づくりを目指します。

また、限られた人的・財政的資源を最大限に活用するため、自治体DXの推進を基本とした広域連携による課題解決に取り組めます。

子どもたちを始めとして、地域住民が会津を好きになる契機となるよう、各施策において地域の魅力を活用する視点を大切にします。

## 課題2 安全・安心な生活環境の確保

地域医療・在宅医療の確保・充実に向けた保健・医療・福祉の連携とそれらを支える人材の確保、公共交通などの生活基盤の維持・改善が必要です。

また、除雪対策や地域に密着した生活道路の整備と適切な維持管理が求められています。

○奥会津在宅医療センターでは、主に高齢者を対象としているが、安心して子育てできるように、子どもも対象としてほしい。

○公共交通機関が運休した際に、子どもたちが経済的な負担を理由に学校を休むことがないように、代替交通機関の費用負担軽減等も含めて検討してほしい。

○雪国の住民として、自分たちが注意すべき点、協力すべき点を楽しみながら学ぶために、除雪車を集めたデモンストラクションイベントがあれば良いと思う。

○県民が、安心して医療を受けられる体制があれば、住みやすさにもつながる。

○不安なく働ける環境が、地域に住み続けるために重要な要素である。

子どもから高齢者まで安心して生活することができるよう、地域医療・在宅医療の確保・充実に向けた保健・医療・福祉の連携とそれらを支える人材の確保、公共交通などの生活基盤の維持・改善に取り組みます。

また、地域の理解や協力をいただきながら、除雪対策や生活道路の整備と適切な維持管理を目指します。

## 課題3 地域特性をいかした地域産業の振興

伝統技術の継承や、観光資源の更なる磨き上げと情報発信により、会津ならではの地域産業の振興に取り組むとともに、会津大学等を活用した産業創出や企業誘致など新たな産業集積が求められています。

また、若年労働者の流出を防ぐため、地元企業の魅力発信やワーク・ライフ・バランスの推進などが必要です。

○地域産業の後継者不足解消のため、若手世代が新たな取組にチャレンジできるような制度を創設してほしい。

○地域の魅力を伝えていくのは子どもたちだ。そのため、将来、地域に子どもたちが戻るよう、戻りたいと思えるよう、筋道を立てて会津の魅力を伝え、地元の宝と触れ合う機会を作してほしい。《再掲》  
○国を挙げてDXを推進しているところであり、会津大学は会津地方だけではなく、福島県に対しても大きな影響を与える研究ができる大学なので、それを生かせる施策があれば良い。《再掲》

○「地元を好きになる」ことを強制するのではなく、促す取組が必要ではないか。《再掲》

伝統技術を継承するための若手後継者の活動支援や、観光資源の更なる磨き上げと情報発信により、会津ならではの地域産業の振興に取り組みます。

また、会津大学等を活用した産業創出や企業誘致など新たな産業集積を目指します。

併せて、若年労働者の流出を防ぐため、ワーク・ライフ・バランスの推進などや子どもたちへの地元企業の魅力発信に取り組めます。

#### 課題4 美しい自然との共生と伝統文化の保全・継承

地域の歴史、伝統文化、自然環境、景観等を次世代へ継承するために、地域の宝や価値を再発見し、地域資源として磨き上げていくことが求められています。

○地域の魅力を伝えていくのは子どもたちだ。そのため、将来、地域に子どもたちが戻るよう、戻りたいと思えるよう、筋道を立てて会津の魅力を伝え、地元の宝と触れ合う機会を作ってほしい。《再掲》

地域の歴史、伝統文化、自然環境、景観等を次世代へ継承するために、地域の宝や価値を再発見し、地域資源として磨き上げ、未来を担う子どもたちへの継承に取り組んでいきます。

# 南会津地域

## 南会津地域の 目指す方向性

豊かな自然や伝統文化を保全・継承するとともに、地域産業の振興や、魅力ある地域資源と整備を進めている広域的な交通網を活用した交流人口の拡大を図り、活力ある地域づくりを進めます。

## 主要施策の進捗状況

### 【施策1】地域の特性をいかした産業の振興

#### ◎ 計21事業から主なものを抜粋

#### 【南会津企業情報発信プラットフォーム構築事業】（R5新）

南会津地域の企業情報プラットフォームを構築し、企業の情報発信の基盤を整えるとともに、管内町村、学校や求職者などの就職や企業間の連携を支援することで、安定した雇用や新たな産業の創出を図る。

◆ R5事業費：2,500千円

#### 【地域創生総合支援事業（サポート事業）】

民間団体、集落、市町村等が実施する地域振興の取組のキックオフの支援を目的とした補助事業。

◆ R4実績：一般枠：5件、市町村枠：6件、  
過疎・中山間地域活性化枠：2件 R4事業費 30,111千円

R5計画：一般枠：6件、市町村枠：6件、  
過疎・中山間地域活性化枠：4件 R5事業費 58,608千円

#### 【創って売り込むまるごと南会津PR事業】

R4実績：南会津町たのせ地区で特産品開発講習会を開催した。講師による、食べやすく日持ちのする6次化商品の試作実演を行った。今後の6次化商品開発に生かす。県内外で開催されたふくしまフェスタに出展した。パネル展示や地域の説明、チラシ配布、試供品配布等により南会津産農林産物や花き、6次化商品をPRした。

R5計画：南会津地域の6次化新商品の開発やブラッシュアップの支援を行うとともに、売れる商品を目指し、販路開拓・拡大の支援に取り組む。県内外のPRイベントや物産展等に出展し、花きや農産物、6次化商品をPRする。

◆ R4事業費 351千円、R5事業費 436千円

6次化商品



地域創生総合支援事業（サポート事業）



6次化商品



### 【産地生産力強化総合対策事業】

R 4 実績：管内 6 事業実施主体における、アスパラガス、トマト、花き（りんどう、宿根カスミソウ）のパイプハウス、かん水設備、種苗等の導入を支援し、園芸産地の基盤強化を図った。

R 5 計画：産地の生産力強化を図るため、園芸振興推進体制の構築や県オリジナル品種の導入、各種作物の産地規模の拡大、省力、低コスト化、高品質化のための機械・施設の導入など、生産の拡大に直結する取組を支援する。

◆ R 4 事業費 22,841 千円、R 5 事業費 553 千円

### 【新規就農者育成総合対策事業】

R 4 実績：管内 2 名の認定新規就農者に対して経営開始資金を交付し、うち 1 名に対し農機具の導入を支援した。

R 5 計画：50 歳未満で令和 5 年度に新たに農業経営を開始する認定新規就農者等、一定の要件を満たす者に対し、機械・施設等の導入を支援する。

また、就農時の年齢が 50 歳未満の認定新規就農者で、前年の世帯所得が原則 600 万円未満である等、一定の要件を満たす者に対し、12.5 万円/月（150 万円/年）の資金を最長 3 年間交付する。

◆ R 4 事業費 6,361 千円、R 5 事業費 未定

### 【農業次世代人材投資事業】

R 4 実績：管内の 6 人と夫婦 8 組に農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付した。

R 5 計画：次世代を担う農業者や新規就農者に対して、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付する。

◆ R 4 事業費 24,172 千円、R 5 事業費 未定

### 【ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業】

R 4 実績：新規就農者の確保に向けた県内外での P R、就農相談、若手農業グループの活動を支援した（只見町・2 組織）。

R 5 計画：当地方の基幹産業である農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、就農準備から定着までの支援体制の構築、現地ツアー・農業体験及び就農相談会の実施並びに新規就農者間の交流等、総合的な支援を実施する。

◆ R 4 事業費 1,234 千円、R 5 事業費 500 千円

## ほ場整備



### 新規就農者数（指標番号：233）

#### 【南会津管内】

現況値 14 人(R3)

最新値 8 人(R4)

目標値 17 人以上(R12)

#### 【県全体】

現況値 204 人(R2)

目標値 340 人(R12)

### 森林整備面積（指標番号：244）

#### 【南会津管内】

現況値 822ha(R2)

最新値 937ha(R3)

目標値 1,040ha 以上(R12)

#### 【県全体】

現況値 6,004ha(R2)

目標値 8,000ha(R12)

### 【農地中間管理機構関連農地整備事業】

R 4 実績：農業生産基盤の強化に向けた整備を進めた。

梁取地区（只見町）：地区界測量 L=9.7km、ほ場整備実施設計 A=65.9ha、  
パイプライン基本設計一式 外 1 地区

R 5 計画：持続的な農業経営の実現のため、ほ場の大区画化・汎用化と併せて、担い手の確保・育成につながる農地の集積・集約化を進め、高収益作物の生産拡大と高品質化による競争力強化を実現する生産基盤を進める。

梁取地区（只見町）：区画整理工 A=3.8ha 外 3 地区

◆ R 4 事業費 57,275 千円、R 5 事業費 250,000 千円

### 【森林居住環境整備事業（一般林道事業）】

R 4 実績：林道の整備により、森林整備の推進が図られた。

新規開設 142m（暫定区間）

R 5 計画：広域な森林整備の推進を図るとともに、生活環境の改善等にもつながる骨格的な林道の開設を行う。（七ヶ岳線（南会津町））

◆ R 4 事業費 115,132 千円、R 5 事業費 155,636 千円

### 【一般林道事業（山のみち地域づくり交付金）】

R 4 実績：地域の活性化の推進に向けて、林道の整備を進めた。

新規開設 348m（暫定区間）

R 5 計画：地理的条件が極めて悪く、豊富な森林資源を有する奥地森林地域の骨格となる林道の整備を実施し、地域の活性化を推進する。（田島・館岩 I 線（南会津町））

◆ R 4 事業費 57,746 千円、R 5 事業費 85,041 千円

### 【林業専用道整備事業（一般林道事業）】

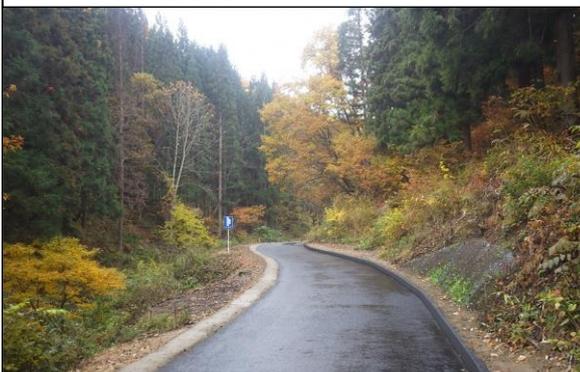
R 4 実績：林業専用道の整備により、森林整備の推進が図られた。

新規開設 640m（完成）160m（暫定区間）

R 5 計画：森林の有する多面的機能の高度な発揮に向けた森林整備や効率的で持続可能な林業経営に資する路網の整備をさらに推進していくため、10 t 積程度のトラックが走行できる簡易で丈夫な林業専用道を整備する。（小塩麻布線、小塩麻布支線（南会津町））

◆ R 4 事業費 94,775 千円、R 5 事業費 288,226 千円

林業専用道[小塩麻布支線](南会津町)



林業専用道整備事業（一般林道事業）



## 【施策2】地域資源を活用した交流・関係人口の拡大と移住・定住の促進

### ◎ 計17事業から主なものを抜粋

#### 【おいでよ！南会津。「新しい教育旅行」スタイル構築事業】

R4実績：体験メニューPRのために新たな動画制作及びパンフレットを更新した。  
(動画9本、パンフレット5,000部)

専用Webサイトの管理運用及び改修等を行い、制作した体験メニュー動画を掲載した。

小・中学校及び旅行会社へのDMを発送した。(50箇所)

農家民泊実施団体の視察を実施した。(参加者15名)

◆R4事業費：5,800千円

#### 【「稼ぐ」観光スタートアップ事業】

R4実績：観光施設、宿泊施設及び物販施設等への調査及び観光客への対面調査を季節毎に実施した。

実証ツアーを2回実施した(参加者18名)。

観光客動向調査や実証ツアー等の結果を踏まえ、検討会(42名)及びWG(5名)により、メンバーの意見を取り入れた「観光ビジョン」をとりまとめる予定。

◆R4事業費9,682千円

#### 【南会津とつながるプロジェクト】

R4実績：多様なサイクリングイベントを開催し、県内外のサイクリスト(初心者～上級者)に対し、南会津地域の魅力を発信した。

また、南会津と自転車をテーマにした映画の一部や、本事業において開催したイベントの映像を使用して動画を作成し、SNS等により発信することで、関係人口の創出及び拡大を図った。

さらに、複数のオンラインツアーを実施し、南会津地域の魅力を発信し、関係人口の創出及び拡大を図った。

<サイクリングのイベント>

- ・スタンプラリー 参加者60名
- ・南会津森林マウンテンバイク 参加者14名
- ・サイクルロゲイニング 参加者91名
- ・雪上ファットバイク体験 参加者117名
- ・南会津PR動画2本作成

<オンラインツアー>

- ・首都圏を対象に3回開催。延べ44名参加

◆R4事業費6,854千円

#### 【南会津地域移住・定住促進事業】

R4実績：管内の移住関連施策や地域情報を掲載したガイドブックを400部作成し、関係機関に配布して情報発信を行った。

南会津地域に移住した方をサポートするため、移住者等で組織するネットワーク会員を中心とした交流会を2回開催し、延べ12名の参加があり、移住者間の交流促進を図った。

田舎暮らし関心層を対象に、地域住民との交流や田舎暮らしを体験するツアーを2回実施し、関係人口の創出による地域活性化を図った(参加者延べ8名)。

◆R4事業費1,537千円

### 【南会津地域ブランド化事業】（R5新）

地域の基幹産業の一つである観光業の回復を図るため、メディアツアー、動画制作及び「南会津」のイメージや価値をデザインし、統一デザインでの情報発信によるイメージ定着を図る。

また、エビデンスに基づく効果検証及び今後の事業を検討するための調査を実施。

◆ R5 事業費 7,000 千円

### 【南会津つながり深化事業】（R5新）

南会津地域の人との交流を促進するため、人との出会いのきっかけ（交流会等）をつくり、人とのつながりを強化することで、新たな仕事やコミュニティの形成など、地域の活性化につなげる。

◆ R5 事業費 8,000 千円

### 【南会津移住サポート推進事業】（R5新）

移住者受入体制を構築するとともに、移住希望者が実際に地域に訪れ一定期間生活を体験することにより、移住までのロードマップを示すことで移住・定住の促進を図る。

◆ R5 事業費 6,700 千円

### 【南会津ふるさとワークステイ事業】

R4実績：現地での農作業体験に1名参加（2泊3日）し、受入農家の指導を受けながら、カラー球根（花き）やアスパラガスの植栽管理を行った。

新・農業人フェアなどで本事業のPRを行った。

R5計画：当地方の基幹産業である農業の担い手を確保するため、UIJターンに興味を持つ者を対象に、農林業従事者との交流の場、農作業体験活動の機会、さらに希望があれば面談等による移住就農に関する相談の場を提供することで、新規就農希望者の誘引を図る。

◆ R4 事業費 367 千円、R5 事業費 639 千円

### 【農家民宿代替わり支援事業】（R5新）

現在経営を担っている親世代から、農家民宿経営、教育旅行受入に興味がある子世代、孫世代への代替わりがスムーズに進むよう講習会を中心とした支援を実施する。

◆ R5 事業費 142 千円

#### 移住世帯数（指標番号：72）

##### 【南会津管内】

現況値 57 世帯(R2)

最新値 78 世帯(R3)

目標値 150 世帯(R12)

##### 【県全体】

現況値 723 世帯(R2)

目標値 1,450 世帯(R12)

#### 交流人口拡大（会津田島祇園祭など）



#### 観光客入込数（指標番号：100）

##### 【南会津管内】

現況値 1,768 千人(R2)

最新値 1,600 千人(R3)

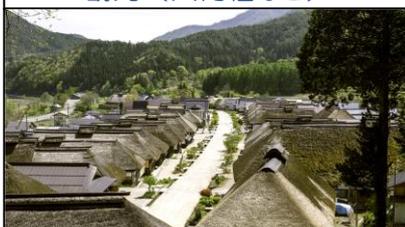
目標値 - (R12)

##### 【県全体】

現況値 36,191 千人(R2)

目標値 60,000 千人(R12)

#### 観光（大内宿など）



#### 観光（田代山など）



### 【会津縦貫南道路整備事業】

R 4 実績：小沼崎BPについて、下郷大橋本体が完成。その他、起点部の改良・舗装工、終点部の改良工の進捗を図った。

下郷田島BPについて、南会津町長野地区の（仮）6号橋下部工2基が完成。その他、同地区の改良工事の進捗を図った。

用地について、令和4年度に下郷町・南会津町区間の用地37,000㎡を取得。（全体の5.9%）

R 5 計画：福島県の地域整備の骨格をなす6本の軸のうち、会津軸一部を形成する会津縦貫南道路の早期供用の向け、下記に取り組む。

小沼崎BP（4工区）については、起点部及び終点部の改良工事、舗装工事、案内標識設置工事を完了し、供用開始する。

下郷田島BP（5工区）については、工事を先行着手している南会津町長野地内における橋梁下部工、道路改良の進捗を図るとともに、新たに下郷町塩生地区において橋梁下部工工事に着手する。併せて、下郷町区間の用地取得の進捗を図る。

◆ R 4 事業費 1,713,638 千円（小沼崎BP）、1,325,824 千円（下郷田島BP）

◆ R 5 事業費 451,030 千円（小沼崎BP）、819,839 千円（下郷田島BP）

### 【国道289号八十里越（入叶津道路）整備事業】

R 4 実績：チバ沢スノーシェッド区間のコンクリート舗装工L=735mや全線にわたって防草工L=6.5kmを実施した。また、入叶津地区内において、用地補償を実施した。

R 5 計画：八十里越（入叶津道路）は、直轄権限代行区間及び新潟県施工区間とともに、国道289号八十里越道路を構成する福島県施工区間であり、国道289号の通行不能区間を解消し、福島県と新潟県との地域の交流、連携の促進を目的とした南会津郡只見町叶津地内の延長7.8kmの2車線道路である。

令和5年度は、コンクリート舗装工、環境調査、用地補償等を実施する。

◆ R 4 事業費 185,420 千円

◆ R 5 事業費 675,922 千円

### 【国道352号（中山峠、見通工区）整備事業】

R 4 実績：中山峠は、（仮）龍神橋下部工着手へ向けて用地測量を実施し、用地A=3,500㎡を取得した。また、橋梁前後の道路詳細設計L=680mを実施した。

見通工区は、見通橋の橋梁下部工（橋台）N=1基を実施した。

R 5 計画：中山峠は、平成18年3月に合併した旧田島町と旧館岩村を連絡する路線であるが、幅員が狭く急勾配・急カーブが連続していることから、その解消を図るものである。令和5年度は、橋梁下部工工事に着手する。

見通工区は、小中学校の通学路であるとともに、スキー場、温泉施設や釣り堀などがあることから観光客の散策も多いが、歩道が無く歩行者の安全確保が課題となっている。本事業は、安全安心な歩行空間を確保するため歩道を整備するものである。令和5年度は、橋梁上部工架設工事を実施する。

◆ R 4 事業費 103,317 千円（中山峠）、395,160 千円（見通工区）

◆ R 5 事業費 202,000 千円（中山峠）、403,437 千円（見通工区）

会津縦貫南道路(小沼崎BP)



八十里越(入叶津道路[チバ沢])



国道352(中山峠)



## 【施策3】社会生活基盤の維持・整備による安全・安心な暮らしの確保

### ◎ 計22事業から主なものを抜粋

#### 【みなみあいづビッグハートプロジェクト】

R 4 実績：管内高齢者施設連携協議会設立(R4. 10. 13)や高齢者施設等における感染症対策研修会(R4. 12. 22)を実施するなど、施設間の連携強化を図り、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んだ。

R 5 計画：地域が一体となり限られた資源をフル活用した持続可能な地域包括ケアシステムを構築するため、令和5年度は本プロジェクトについて情報発信するとともに、関係機関の連携によりサービスの質の向上に努める。

#### 【地域医療人材育成確保事業】

R 4 実績：

①令和4年8月19日に福島県立医科大学の3年生15名が地域医療体験研修に参加し、地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことができた。

②看護大学生1名が令和4年8月5日に只見町役場のインターシップに参加し、地域保健等について理解を深めてもらうことができた。

R 5 計画：

##### ①地域医療体験研修

地域医療に関心を持つ医学生を対象にへき地診療所等の地域医療の現場見学や、地域住民との交流、医療従事者との懇談などの体験の場を提供する。

##### ②看護師・保健師の職場体験支援事業

地域医療に関心を持つ看護学生及び看護職に対して、会津・南会津地域管内で実施されるインターンシップの情報提供及び研修に係る費用(交通費及び宿泊費等)を助成することで、将来の会津・南会津地域の看護師・保健師の確保を目指す。

##### ③医療・介護のお仕事発見事業

中学生を対象に病院及び介護施設の職場を見学する機会を提供し、将来の医療・介護人材確保を目指す。

◆ R 4 事業費 1,907 千円、R 5 事業費 2,082 千円



地域医療体験研修



特定健康診査実施率(指標番号:8)

#### 【南会津管内】

現況値 52.8%(R元)

最新値 53.7%(R3)

目標値 70%以上(R12)

#### 【県全体】

現況値 54.7%(R元)

目標値 70%以上(R12)

地域医療体験研修



### 【食品等関連施設へのHACCP導入普及事業】

R 4 実績：新型コロナの感染拡大により、研修会は1回17名の開催のみとなったが、立入等の個別指導により321施設への導入支援を行った。

R 5 計画：食品衛生法の改正により、HACCPに沿った衛生管理の導入が全ての食品事業者へ義務づけられたことから、立入による個別指導やふくしまHACCPアプリを使用した研修会の開催により、食品事業者の取組状況の確認と導入支援を行う。

◆ R 4 事業費 48 千円、R 5 事業費 48 千円

### 【ふくしまの恵み安全・安心推進事業】

R 4 実績：産地における放射性物質の分析用務、分析機器の点検校正等の運営経費について助成し安全・安心な農産物の情報提供が図られた。

○自主検査点数 1,605 点

R 5 計画：産地における分析機器等の整備、地域協議会の設置と運営等を支援し、放射性物質検査結果等の情報を消費者に提供するため、ホームページ等により情報を発信する。

◆ R 4 事業費 6,075 千円、R 5 事業費 6,598 千円

### 【只見川河川改修事業】

R 4 実績：【新町工区】

・護岸工 L (延長) = 300.0m、A (面積) = 3,162.5 m<sup>2</sup>

・河道掘削工 L (延長) = 76.3m、V (体積) = 8,563.2 m<sup>3</sup>

【八木沢工区】

・河道掘削工 L (延長) = 78.1m、V (体積) = 11,862.0 m<sup>3</sup>

R 5 計画：只見川は、平成 23 年 7 月に発生した新潟・福島豪雨の被害状況を踏まえ人家への浸水被害軽減を図るべく、平成 26 年度に「只見川圏域河川整備計画」の見直しを行い、現在事業を進めている。

計画に基づき令和 5 年度については、樋門工事および河道内の掘削工事、各種設計等を予定している。

◆ R 4 事業費 350,000 千円、R 5 事業費 71,000 千円

### 【中山間地域総合整備事業】

R 4 実績：農村生活環境の改善が図られた。

南会津西部地区 (南会津町)

農道改良舗装工 L=3,433.6m、水路工 L=1,515.7m 外 1 地

R 5 計画：農業振興と定住環境の改善のため、生活基盤や防災設備の整備を進める。

南会津西部地区 (南会津町) :

農道改良舗装工 L=667m、水路工 L=903m 外 1 地区

◆ R 4 事業費 629,276 千円、R 5 事業費 486,235 千円

放射性物質検査



ふくしま HACCP の導入状況  
(指標番号:129)

#### 【南会津管内】

現況値 7.7%(R2)

最新値 29.3%(R3)

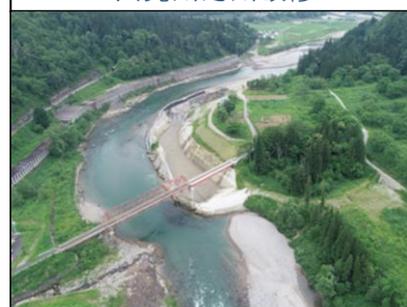
目標値 100%(R12)

#### 【県全体】

現況値 24.3%(R2)

目標値 100%(R12)

只見川河川改修



### 【森林環境保全直接支援事業】

R 4 実績：森林整備により森林の有する多面的機能の高度発揮や地域林業振興が図られた。森林整備 167ha、森林作業道 15,347m

R 5 計画：森林の有する多面的機能の高度発揮や山村経済の振興等を図るため、一般造林事業により一連の森林施業を適切に行い健全な森林を造成する。

◆ R 4 事業費 197,491 千円、R 5 事業費 206,055 千円

### 【治山事業】

R 4 実績：治山ダム等の施設整備や保安林保育作業の実施により、山地災害の未然防止が図られた。

治山施設等整備 12 箇所、保育 1 箇所、保安林改良 2 箇所

R 5 計画：山地災害等による被害の防止及び保安林の機能を維持強化するため、溪流や山腹斜面を安定させるための治山ダム工、土留工等の施設の整備や植栽、森林の造成等を行い、荒廃地、荒廃危険地等の復旧整備を実施する。

◆ R 4 事業費 455,671 千円、R 5 事業費 499,542 千円

### 【里山林整備事業】

R 4 実績：地域住民が緩衝帯整備に関わったことにより、獣害被害の防止と森林づくり意識の醸成が図られた。

緩衝帯整備等 38 地区 73ha

R 5 計画：里山林の環境整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木整理）、里山整備活動の実施に必要な経費を支援する。

◆ R 4 事業費 29,259 千円、R 5 事業費 24,153 千円

### 【地域ので進める！鳥獣被害対策事業】

R 4 実績：鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画を策定した市町村のうち南会津町に対して、防護柵設置を支援した。

また、鳥獣被害防止の総合的な対策を行うモデル集落を下郷町小松川地区に設定し、センサーカメラや防護柵の設置、鳥獣被害対策研修会や実績検討会の開催を支援したことにより、集落ぐるみの鳥獣被害防止対策の取組が進んだ。

R 5 計画：鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画を策定した市町村の協議会等が実施する鳥獣被害防止活動等を支援する。

また、鳥獣被害防止の総合的な対策を行うモデル集落を設置する（下郷町小松川地区）。

◆ R 4 事業費 1,821 千円、R 5 事業費 未定

### 【鳥獣被害対策強化事業】

R 4 実績：鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画を策定した市町村のうち下郷町と南会津町に対して、防護柵設置及び有害鳥獣捕獲活動を支援した。

R 5 計画：鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画を策定した市町村の協議会等が実施する鳥獣被害防止活動等を支援する。

◆ R 4 事業費 42,202 千円、R 5 事業費 未定

森林環境保全直接支援事業



治山事業



里山林整備事業[左：整備前、右：整備後]



### 【南会津野生鳥獣対策事業】

R 4 実績：

- 尾瀬大江湿原への防鹿柵の設置作業を実施し高山植物への食害防止を図った。
  - ・ 6月21日（火） 20名参加
- 狩猟セミナーを実施し狩猟者の新規確保に努めた。
  - ・ 2月18日（土） 15名参加
  - ・ 2月19日（日） 12名参加

R 5 計画：

- 南会津尾瀬ニホンジカ対策協議会が実施する大江湿原防鹿柵の設置支援活動を実施し、ニホンジカによる高山植物の食害を防止する。
- 狩猟者が減少、高齢化しており、捕獲の担い手の育成や確保が喫緊の課題となっていることから、狩猟に興味を持ち狩猟免許取得を目指している方を対象に「狩猟セミナー」を開催する。

◆ R 4 事業費 108 千円、R 5 事業費 337 千円

### 【ローカル線（JR只見線、会津・野岩鉄道）で行く南会津まるっと周遊事業】（R 5 新）

R 5 計画：令和4年10月に全線再開通を果たしたJR只見線と南会津地方を走るローカル鉄道である会津・野岩鉄道への乗車や体験活動等を組み込んだ南会津地方周遊ツアーを実施することで、参加者が南会津地方の魅力を体感し、ローカル鉄道の利用促進と南会津地方への移住・定住につなげる。

◆ R 5 事業費 4,300 千円

### 【JR只見線を歩いてみよう！歴史を感じよう！地元の魅力再発見事業】

R 4 実績：レールウォークとJR只見線乗車等を通じて地元の魅力発見や只見線の利用促進につなげることができた。

- ・ 7月16日（土） 7組 14名参加
- ・ 7月17日（日） 11組 22名参加

◆ R 4 事業費 3,500 千円

鳥獣被害対策[尾瀬大江湿原の防鹿柵設置作業]



JR只見線を歩いてみよう！歴史を感じよう！地元の魅力再発見事業



**【JR只見線で行く只見ふるさとの雪まつりと2つのミュージアム体感ツアー事業】**

R4実績：JR只見線に乘車し、「只見ふるさとの雪まつり」と「ただみ・ブナと川のミュージアム」、「ただみ・モノとくらしのミュージアム」を見学することにより、只見線の利用促進につなげることができた。

・2月8日（土）14名参加

R5計画：令和4年10月に全線再開通を果たしたJR只見線について、新潟県側からのさらなる誘客を図り、継続した利用につなげるためツアー等を実施する。

◆R4事業費231千円、R5事業費362千円

**【会津・野岩鉄道利用促進事業】**

R4実績：会津・野岩利用促進絵はがき・ポスターコンクールに多数の応募があり、両鉄道への関心を高めることができた。

・絵はがきの部：99点

・ポスターの部：41点

R5計画：管内の子どもたちの会津・野岩鉄道への関心を高めるとともに、会津・野岩鉄道の利用促進を図るため、管内の小・中学生を対象に、会津・野岩鉄道ポスターコンクールを実施する。

◆R4事業費255千円、R5事業費383千円

**【南会津地方防災訓練】**

R5計画：地域防災力の充実・強化と地域住民の防災意識向上を図るため、只見町との合同による防災訓練を実施する。

**【消防団員確保に向けた取組】**

R4実績：23企業を訪問し、消防団入団への働きかけや消防団活動への協力を要請し理解を得た。

R5計画：県・町・消防団合同により管内企業を訪問し消防団活動への協力要請を行う。

消防団員数の条例定数に対する充足率  
(指標番号：125)

**【南会津管内】**

現況値 85.0%(R2)

最新値 89.0%(R4)

目標値 89.0%(R12)

**【県全体】**

現況値 88.4%(R2)

目標値 88.4%(R12)

会津・野岩鉄道利用促進事業  
絵はがきの部最優秀賞作品



JR只見線で行く只見ふるさとの雪まつりと2つのミュージアム体験ツアー



消防団



会津・野岩鉄道利用促進事業  
ポスターの部最優秀賞作品



JR只見線で行く只見ふるさとの雪まつりと2つのミュージアム体験ツアー



## 【施策4】豊かな自然環境や伝統文化など地域の宝の保全・継承

### ◎ 計7事業から主なものを抜粋

#### 【南会津しごとの魅力発信プロジェクト】

R4実績：管内企業のお仕事PR動画6本を作成し、管内の小学校4校で動画を活用した出前講座を実施し、「地元で働く魅力」について学ぶ機会を創出した。

（受講児童98名）

また、作成した動画を就業関連機関のWebサイト等で公開し、南会津地域の企業の情報発信を行った。

◆R4事業費2,666千円

#### 【南会津ふるさと教育事業】

R4実績：南会津教育事務所と連携し、郡内の地勢、産業、文化などを盛り込んだ問題集を作成・配布し、管内の小学6年生を対象に夏休みの自主学習として取り組んでもらい、修了者に「参加賞」と「ふるさと博士認定証」を交付した。

・修了者/問題配布者 169/180名 93.9%

R5計画：南会津郡の子どもたちは、進学や就職で転出する機会が多い。転出した後も子どもたちに南会津地域に関わっていきたいという思いを持ってもらうため、南会津教育事務所と連携し郡内の地勢、産業、文化などを盛り込んだ問題集を作成・配布し、管内の小学6年生を対象に夏休みの自主学習として取り組んでもらう。その後「参加賞」と「ふるさと博士認定証」を交付する。

◆R4事業費177千円、R5事業費180千円

#### 【『南郷刺し子』文化の魅力発信・継承促進事業】（R5新）

R5計画：「南郷刺し子」地域固有の文化として次世代に継承していく必要がある。そこで、高校生等との協働や、新商品開発支援により、「南郷刺し子」文化の新たな魅力を創造するとともに、この取組を通じて高校生の郷土に対する誇り・愛着の醸成を図る。また、情報発信の強化等により、「南郷刺し子」文化の継承促進や認知度の向上を図る。

◆R5事業費5,500千円

#### 【環境保全啓発事業】

R4実績：6月の「環境月間」に合わせ、会津田島駅、リオンドール田島バイパス店等において、温暖化防止の啓発パネル及びパンフレットの掲示を行うとともに、尾瀬沼山峠や会津朝日岳等の登山口において、ごみ袋やエコバッグ、関連パンフレット等の配布によりごみ持ち帰りの呼び掛けを行ったほか、「地球にやさしい“ふくしま”県民会議南会津地方会議」の構成員に対し、県環境アドバイザーを講師とした地球温暖化防止対策に係る講習会を実施することにより、地域における自主的な環境保全活動への理解醸成を図ることができた。

R5計画：「環境月間」に地球温暖化防止等に係る啓発パネル及びパンフレットの掲示を行うほか、尾瀬沼山峠や会津朝日岳等の登山口において、ゴミ持ち帰りの呼び掛けを行うことにより、自然環境の保全について周知活動を行う。

◆R4事業費122千円

#### 【森林環境交付金事業】

R4実績：森林環境学習4町村、森林環境イベント実施2町、森林適正管理推進4町村森林環境学習の実施等により県民全体で森林を守り育てる意識の醸成が図られた。

R5計画：県民全体で森林を守り育てる意識の醸成を図るため、森林づくりに参画する機会を幅広く確保し、町村の継続的な実施を支援する。

◆R4事業費29,422千円、R5事業費41,815千円

### 【地域を活かし、地域に尽くそう！南会津ふるさと教育】

R 4 実績：地域の方々を講師として、各学校が各地域の特色に応じた自然体験や郷土料理づくり体験等を実施することにより、子どもたちが郷土（地域）の良さに気づき、未来に守り伝える意欲や態度を持つ契機とすることができた。

R 5 計画：地域の子どもたちが地域の自然や文化を理解する機会が減少していることから、各学校で教科横断的に取り組む「ふるさと教育」を支援し、郷土のすばらしさに気づかせるとともに、郷土を愛し、守り伝える意欲や態度を持った、未来の南会津地域を担う人材を育成する。

◆ R 4 事業費 313 千円、R 5 事業費 291 千円

## 檜枝岐歌舞伎



### 【(参考) 南会津地域の教育に関する主な指標】

<p>CEFR A1 以上の英語力を有する生徒の割合[中学3年生] (指標番号: 34)</p>	<p>自分には良いところがあると思う児童生徒の割合[小学校] (指標番号: 36)</p>	<p>朝食を食べる児童生徒の割合 [小・中・高・特別支援学校] (指標番号: 46)</p>
<p>【南会津管内】 現況値 52.8%(R4) 目標値 50.0%(R12) 【県全体】 現況値 37.3%(R元) 目標値 50.0%(R12)</p>	<p>【南会津管内】 現況値 85.6%(R3) 目標値 100%(R12) 【県全体】 現況値 74.2%(R3) 目標値 100%(R12)</p>	<p>【南会津管内】 現況値 97.8%(R4) 目標値 100%(R12) 【県全体】 現況値 96.5%(R2) 目標値 100%(R12)</p>
<p>全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較値 (全国=100) (指標番号: 32)</p>		
<p>【南会津管内】 現況値(R3) 98 (小学校国語)、95 (小学校算数)、97 (中学校国語)、96 (中学校数学) 目標値(R12) 102 以上(小・国)、100 以上(小・算)、102 以上(中・国)、100 以上(中・数) 【県全体】 現況値(R3) 99 (小学校国語)、95 (小学校算数)、101 (中学校国語)、96 (中学校数学) 目標値(R12) 102 以上(小・国)、100 以上(小・算)、102 以上(中・国)、100 以上(中・数)</p>		
<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査における新体力テストの全国平均との比較値 (全国=100) (指標番号: 44)</p>		
<p>【南会津管内】 現況値(R4) 108.2%(小5男)、109.6%(小5女)、105.9%(中2男)、113.0%(中2女) 目標値(R12) 100.0%以上(小5男)、101.9%以上(小5女)、100.0%以上(中2男)、100.2%以上(中2女) 【県全体】 現況値(R元) 98.9%(小5男)、101.1%(小5女)、99.3%(中2男)、100.1%(中2女) 目標値(R12) 100.0%以上(小5男)、101.9%以上(小5女)、100.0%以上(中2男)、100.2%以上(中2女)</p>		

## 課題1 地域産業の活性化

- 農林業就業者の減少・高齢化に対応するため、多様な担い手の育成、生産基盤のさらなる整備が必要
- 管内企業で働く産業人材の確保、雇用の場の確保が必要

- 仕事に興味を持ってもらいたいが、高校生では遅いので、中学生を対象に、見学・体験の事業を実施する。
- 地元高校生の計画的採用を行うことで、人材を確保できている。
- 南会津高校が総合学科になり、探究学習で介護に興味を持ってもらえれば協力したい。
- 人を増やすために企業誘致をして、大きな工場をつくっても、誘致した企業に就職する人がいない状況。
- インボイスがスタートすれば、1人に仕事を頼むことが難しくなってくる。小さな地域でも、きちんとした組織を作っておくことが大切。

- 小中学生の職場体験や体験学習について、より一層の支援を行うとともに、地域のために総合学科の良さを最大限発揮できるように、また、若者へのきめ細かな支援ができるよう、各団体、関係機関の相互連携を推進する。
- 町村や農業生産者団体等との連携による、法人、認定農業者等の確保・育成や生産基盤の整備をより一層推進する。
- 若者に向けた、南会津地域での仕事と暮らしのロールモデルの構築と情報発信を目指す。

## 課題2 交流・関係人口の拡大と地域の活性化

- 人口減少・高齢化により地域の活力が低下しているため、関係人口を増やす取組や移住・定住施策の推進が必要
- 観光客の滞在時間の増加や外国人旅行者の取り込みが必要
- 地域内外との交流連携を支援する軸となる骨格道路の整備が必要

- 伝統文化を守ることが観光にも繋がる。伝統文化によそからの人材を繋げることが必要。
- インターネットの普及に伴い、生産者と最終消費者が直接結びつくことが容易になり、Uターンに繋げるなどの可能性もある。
- 伝統的な景色は町並みだけではなくそれを取り巻く里山の風景でもある。放置された自然を整備することで、財産が眠っていると感じた。
- 農家民泊の事業者も高齢化により、受入が非常に困難になっている。
- 企業誘致をする際に、大きな工場ではなく、一時移住的な仕事を持って南会津に来て暮らしていただける基盤を作るとよいと思う。
- 仕事をしながら暮らしていただけるような基盤を作り、都会でやっている仕事も南会津で出来ることを見せていくこと、企業の在り方や地域の在り方を検討していくことも大事だと思う。

- 交流・関係人口拡大の施策の中で、様々な分野の人々に南会津地域の理解を深めてもらうための、戦略的な情報発信を推進する。
- 観光分野、農業分野のポリシーミックスを念頭に置き、関係機関の相互連携による地域づくりを目指す。
- 交流・関係人口拡大の各種事業の中で、南会津地域での仕事と暮らしのロールモデルの構築と情報発信を目指す。
- 各分野の施策の中で、事業継承や文化継承の視点による取組を検討する。

### 課題3 住民が安心して暮らせる生活基盤の確保

- 住民が住み慣れた地域で安全・安心に暮らすことができる生活基盤の整備が必要
- 食の安全・安心の確保、災害に強い森林（もり）づくりが必要
- 野生鳥獣の被害の深刻化
- 過疎・高齢化に伴う、地域公共交通などが課題

- 建設業では、作業員の高齢化を感じる。
- 計画の第6章にも、「様々な主体がそれぞれの役割のもと、力を合わせた取組が必要」と記載されている。それぞれの実施分野、得意分野で関係団体へのアプローチが有効でないかと考えている。
- 鳥獣被害で、近所の農家がやめるなど、農業を取り巻く環境というのが厳しくなっていると感じる。
- 下水道も完備されているが、集落の住民が減ることで、そうしたインフラの維持管理費がとても大変になってきているのも現状。
- 子育て中の若いお母さんなどは、働いてもらえるように、子供が急に熱を出したとか、迎えに行かなければならないからいからちょっと抜けますとかそういう出入りを、本当に自由にやってもらうようにしている。
- 仕事やりつつ子育てをやる、また消防団に入ったりスポ少の指導をしたりといろいろやっているが、子供にかかる時間は本当に大切だと実感している。

- 生活基盤の維持管理、災害等の早期復旧、冬期間の生活確保のため、インフラ分野の人材確保、人材育成の支援に努める。
- 安全・安心な暮らしを確保するため、各機関、団体等の相互連携をより一層推進する。
- 若者が活躍できる地域を目指し、子育て環境を充実させるとともに、効果的な取組を様々な分野に展開できるように情報発信と支援に努める。

### 課題4 自然環境、歴史的景観の保全・継承

- 貴重な自然環境の維持・保全が求められる
- 地域に根ざした伝統文化や伝統芸能が衰退傾向
- 歴史的景観を後世に継承していくことが必要

- 檜枝岐歌舞伎は、後継者をこれからどんどん確保していかなければいけない。
- 中学生に文化祭で檜枝岐歌舞伎を演じてもらっているが、非常に役に立っており、村に帰ってきて花駒座に入座している。
- 小学生ぐらいから興味を持たせるように、地元のあらゆる仕事、産業に興味を持ってもらうような授業も必要だと思う。

- 交流・関係人口拡大の施策の中で、自然環境や伝統文化に関心のある人材へのアプローチ方法を検討する。
- 関係機関の相互連携により、学校教育を通じたキャリア形成の中で、職場体験や体験学習の内容の充実を図る。

地域の名称 **相 双 地 域**

**相双地域の目指す方向性** 帰還環境の整備に加え、交流・関係人口の拡大、持続可能な産業の創出・振興、次代を見据えた社会基盤の構築等を進め、東日本大震災と原子力災害を乗り越え、活気と魅力に満ちた地域へと再生していきます。

主要施策の進捗状況

**【施策1】 帰還促進と移住・定住の促進に向けた取組**

**【新型コロナウイルス感染症対策事業】**（相双保健福祉事務所）

新型コロナウイルス感染症について、患者の重症化防止対策や感染拡大防止対策を講じるとともに、医療提供体制や検査体制の拡充のため、管内医療機関及び地域医師会との調整を行う。

- ◆ 令和4年度実績・成果
  - 病床確保に向けた医療機関との調整を継続的に行うとともに、患者の疫学調査や健康観察、相談対応を実施することにより、重症化・感染拡大防止を図った。
  - 発生届受理（10,356件）、相談対応1,708件）

**【地域の力で進める！鳥獣被害対策事業】**（相双農林事務所）

- 鳥獣被害防止総合対策事業（補助事業）
  - 鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止対策を策定した市町村の協議会等が実施する鳥獣被害防止活動等を支援する。
  - ◆ 令和4年度実績・成果
    - 事業実施主体：相馬市、相馬市有害鳥獣被害対策協議会、新地町有害鳥獣被害対策協議会
- モデル集落实証・普及活動（県事業）
  - 地域における持続的な被害防止体制を整備するため、県の普及組織が主導して市町村と連携しながら、地域住民が自ら対策を行うモデル集落の取組を実施し、その効果を波及させる。
  - ◆ 令和4年度実績・成果
    - 実施箇所：飯舘村（飯樋地区）

鳥獣被害対策（柵設置）



**【魅力体感！そうそう体験型観光振興事業】**（相双地方振興局）

東日本大震災による観光客の減少、福島第一原発の処理水問題に起因する新たな風評被害による交流・関係人口の減少に歯止めをかけるため、地域資源を活かしたモニターツアー（県内向け）、SNSを活用した情報発信、ガチャを活用した周遊促進イベントを実施する。

- ◆ 令和4年度実績・成果
  - ① 魅力体感モニターツアー（県内向け）
    - 親子向けモニターツアー2回実施（計30名参加）
    - シニア向けモニターツアー2回実施（計41名参加）
  - ② SNSを活用した情報発信
    - SNSフォトコンテスト3回実施（応募件数754件）
    - SNSフォトコンテスト写真展2会場で開催（優秀作品30点展示）
  - ③ ガチャを活用した周遊促進イベント
    - 大堀相馬焼箸置きと管内誘客施設等の割引券をカプセルガチャでセット販売（3,600個完売）

浜焼き体験（ツアー）



そうそうはしおきガチャ



### 【相双地域の魅力戦略的情報発信事業】(相双地方振興局)

福島第一原発の処理水問題に起因する新たな風評の払拭、交流・関係人口拡大のため、相双地域の正確な情報や魅力的な地域資源等を情報発信するポータルサイト・SNS コンテンツの構築や地域資源を組み合わせたモニターツアー(県外向け)、観光客受入体制強化研修会を実施する。

#### ◆令和4年度実績・成果

- ①相双地方魅力発信ポータルサイト・SNS コンテンツ構築  
ポータルサイト 令和5年3月下旬開設  
SNS (Instagram、Facebook、Twitter) 同年1月開設
- ②魅力体感モニターツアー(県外向け)  
美食と発酵など5コース10回実施(計132名参加)
- ③観光客受入体制強化研修会  
おもてなし向上ワークショップ2回開催(計17名参加)

### 【交付金事業(道路)(再生復興・全額国費)】(相双建設事務所)

帰還と移住・定住促進を図るため、小野富岡線外でIC等の交流結節点へのアクセス向上及び格子状の道路ネットワークの整備を推進する。

小野富岡線：高津戸工区(富岡町)、五枚沢2工区(富岡町、川内村)、西ノ内工区(川内村)

国道114号：柵平工区(浪江町)

広野小高線：浪江小高工区(南相馬市、浪江町)

#### ◆令和4年度実績・成果

小野富岡線：高津戸工区(富岡町)、五枚沢2工区(富岡町、川内村)、西ノ内工区(川内村)

国道114号：柵平工区(浪江町)

広野小高線：浪江小高工区(南相馬市、浪江町)

### 【河川災害復旧助成費】(相双建設事務所)

令和元年東日本台風の豪雨により、宇多川の堤防が破堤し、市街地が浸水、家屋等に甚大な被害をもたらしたことから、自然災害に対する安全安心の確保、再度災害防止に向け、宇多川の河川改修を推進する。

宇多川筋(相馬市)

#### ◆令和4年度実績・成果

宇多川筋(相馬市)

#### ポータルサイト構築



#### 乗馬体験(ツアー)



#### 広野小高線(浪江小高工区)



#### 小野富岡線(西ノ内工区)



#### 宇多川



#### 地元就職PR教材



#### 交流フェア



### 【施策2】持続可能な産業の再生と創出及び関連インフラの整備

#### 【そうそうではたらこう産業人材確保支援事業】(相双地方振興局)

高校生の地元企業への就職・定着を促すため、高校生向け地元就職応援冊子作成、高校生と企業との交流会、企業見学ツアーを実施し、高校3年間を通して切れ目ない就職支援事業を展開する。

#### ◆令和4年度実績・成果

- ①生徒と保護者向け地元就職PR教材の作成  
掲載企業等：17社、製作部数：2,500部
- ②高校生と地元企業等の交流フェア  
南相馬会場：企業等19社、329名参加  
檜葉会場：企業等12社、103名参加

### ③キャリア検討ツアー

ふたば未来学園高校、相馬総合高校、四倉高校で各1回実施。  
訪問企業：のべ15社、93名参加

## 【Out of KidZania in ふくしま相双 2022】（相双地方振興局）

将来の相双地域を担う人材の確保と地元企業の活性化のため、地域内外の小中学生を対象に、仕事体験等のイベントを実施し、イノベーションに基づく新しい産業や地元企業への理解促進、キャリア教育、世代間交流を通じて、子どもたちの地元愛の醸成と生きる力の育成に取り組む。

### ◆令和4年度実績・成果

日時：令和4年10月1日～2日

会場：福島ロボットテストフィールド、道の駅なみえ等

出展：仕事体験24企業・団体（26プログラム）、

イノベコーナー20企業・団体

来場者：1,530名

## 【REALSKY プロジェクト推進事業】（テクノアカデミー浜）

令和2年度3月に県とエアレースパイロットの室屋義秀氏が代表を務める企業が、人材育成に関する連携協定を締結。それに基づき室屋氏に協力を得て、航空宇宙関連産業に対応できる人材を育成する「REALSKY プロジェクト」として航空機部品の製作等の技術習得を行ってきた。令和5年度は、カリキュラム内容の充実を図り、LSAの検査、メンテナンスと教材開発に取り組む。

### ◆令和4年度実績・成果

軽量飛行機（LSA）という教材を用いて、学生自らがその製作に取り組むことで実践的な技術を身に着けることができた。

## 【ふくしまスーパーサイエンススクール事業】（相双教育事務所）

再生可能エネルギーや医療、ロボット分野、プログラミング体験等と関連した理数教育の取組を通して、福島イノベーション・コースト構想に関する職業や産業への興味・関心を醸成するとともに、将来に対する夢や希望を膨らませることにより、将来の福島を担う人材の育成に向けて裾野を広げる。キャリア教育の視点に立った体験型講座を開催する。

### ◆令和4年度実績・成果

理科コアティーチャー勤務校において、計3回体験型講座を開催。

## 【交付金事業（港湾）】（相馬港湾建設事務所）

南防波堤を延伸することにより港内静穏度の向上を図り、相馬港の機能強化に寄与する。

### ◆令和4年度実績・成果

基礎捨石を投入し、ケーソンマウンドの整備を促進した。

## 【帰還環境整備交付金事業（道路）】（相双建設事務所）

復興拠点や物流拠点及びIC等の交流結節点へのアクセス向上を図るため、原町川俣線外で道路整備事業を推進する。

仕事体験（消防士）



REALSKY プロジェクト



バイオテクノロジー学習



相馬港（全景）



原町川俣線：下高平工区（南相馬市）  
 井手長塚線：長塚工区（双葉町）  
 ◆令和4年度実績・成果  
 原町川俣線：下高平工区（南相馬市）  
 井手長塚線：長塚工区（双葉町）

井出長塚線（長塚工区）



**【施策3】地域の特性をいかした農林水産業と過疎・中山間地域の再生**

**【復興基盤総合整備事業】（相双農林事務所）**

南相馬市ほか7町村において、経営規模の拡大や生産性の向上に向けたほ場の大区画化を実施。

◆令和4年度実績・成果

南相馬市ほか5町村において、経営規模の拡大や生産性の向上に向けたほ場の大区画化を実施（31地区、232ha）。

**【福島県営農再開支援事業】（相双農林事務所）**

原発事故により農作物等の生産断念を余儀なくされた避難区域等においては、営農再開に向けた環境が整っていないことから、農業者が帰還し、安心して営農再開できることを目的として行う一連の取組を支援する。

取組数：10市町村

◆令和4年度実績・成果

取組数：10市町村

営農再開状況：6,649ha（営農休止面積16,030h、対比41.5%）

（営農再開状況面積は、令和3年度実績の数値）

**【被災地域農業復興総合支援事業】（相双農林事務所）**

原子力災害により被災した地域において、農業の復興のため、様々な農業用施設等を一体的に整備する必要がある。このため、市町村が実施する農業用施設の整備及び農業用機械の導入を総合的に支援し、地域の意欲ある多様な経営体の育成・確保及び早期の営農再開を図る。

◆令和4年度実績・成果（R4予算・R3繰越分）

市町村数：5市町村

実施件数：14件

補助金額：3,151,848千円（R5繰越額：2,127,510千円）

**【新商品開発・ブランド強化促進委託事業】（水産事務所）**

魅力的な水産加工品を開発するため、加工業者グループから優れた商品開発アイデアを募集し、開発費の助成により即戦力となるブランド商品（ふくしま海の逸品）の開発を促進する。

◆令和4年度実績・成果

- 開発商品 5品
- ゴロっと！たこカレー（相双地域）
- 松川浦青ノリコロッケ（相双地域）
- ごはんのおとも（相双地域）
- さかなは土台パクパク離乳食（いわき地域）
- お手軽ちぎり揚げ（いわき地域）

ほ場整備（飯崎地区）



機械リース導入



富岡町カントリーエレベーター



ふくしま海の逸品



ゴロっと！たこカレー



### 【ふくしま森林再生事業】（相双農林事務所）

原発事故に起因する放射性物質の拡散により、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の有する多面的機能の低下や山村地域の衰退が懸念されているため、間伐等の森林整備と放射性物質の動態に対応した表土流出防止柵等を一体的に実施し、森林の有する多面的機能の維持増進を図る。

#### ◆令和4年度実績・成果

相双農林事務所、富岡林業指導所、管内10市町村が事業に取り組み、580.26haの森林整備を実施した。

### 【あぶくま地域魅力発信プロジェクト】（相双地方振興局）

あぶくま地域のイメージアップ、他地域との交流促進、地域活性化を図るため、国道399号「あぶくまロマンチック街道」沿線5市町村と県が連携・協力し、郷土食の継承や地域とのつながりを持ったファン獲得を目的とした回帰ツアー、星空観測イベント等を自治体と民間団体が一体となって実施する。

また、沿線5市町村が中心となり、地域活性化とともに、国道399号の利便性向上や利用促進等を図るため、新たに「国道399号あぶくまロマンチック街道沿線自治体連絡協議会」を設立。

#### ◆令和4年度実績・成果

あぶロマツアー夏（冬）&星空2回催行（計29名参加）

森林整備（間伐）



丸太筋工



ツリークライミング（ツアー）



## 【施策4】時代の潮流を踏まえた生活基盤の構築

### 【未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業】（相双教育事務所）

算数・数学科、理科を専門とする優秀教員（コアティーチャー）の育成と活用を通して、小・中・義務教育学校において、質の高い授業を行い、児童生徒の学力の向上を図る。また、「学級・授業づくりセミナー」を開催し、学力向上に向けた学級づくりや授業づくりについて改善の視点や方策を教員同士が学び合い、指導力向上を図る。

#### ◆令和4年度実績・成果

（算数・数学科）

コアティーチャー授業研究会（小学校）2回開催、延べ54名参加

コアティーチャー授業研究会（中学校）1回開催、57名参加

学級・授業づくりセミナー1回開催74名参加

（理科）

授業力アップ研修会（小学校）1回開催9名参加

授業力アップ研修会（中学校）1回開催7名参加

授業力アップ研修会（実験実技指導講座）1回開催13名参加

コアティーチャー研究会



### 【ふくしま「未来の教室」授業充実事業】（相双教育事務所）

授業のねらいの達成や児童生徒の資質・能力の育成を目的としたICTの活用を周知する。実践協力校で学校公開授業を開催し、実践協力校以外での取組を促進する。また、ICT教育を推進するため、各学校の中核となるICT教育コーディネーターを養成する。

#### ◆令和4年度実績・成果

第1回地区別研究協議会開催 58名参加

第2回地区別研究協議会開催 57名参加

小学校1校、中学校1校で「ICT活用授業」を公開 80名参加

地区別研究協議会



### 【被災者健康サポート事業】（相双保健福祉事務所）

東日本大震災及び原子力災害により、長期にわたり避難生活を余儀なくされている被災者の健康維持増進を図ることを目的に、市町村と連携しながら健康支援活動の体制整備を図るとともに、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた支援活動を継続的に実施する。

#### ◆令和4年度実績・成果

被災者の状況に合わせた健康支援を行った結果、生活習慣病の健康問題の解消や健康管理の意識向上、育児不安の軽減につながった。また、避難先市町村や各保健福祉事務所と連携したことで、避難先での事業の円滑な実施や支援体制の構築につながった。

- 1 被災者健康支援に係る市町村、関係機関等との連絡会・検討会（15回）
- 2 復興公営住宅における保健活動支援事業
  - (1) 家庭訪問、個別相談、電話相談（延べ232名）
  - (2) 健康教育、集団による支援（11回）

### 【子ども健やか訪問事業】（相双保健福祉事務所）

震災により避難生活をしている子育て家庭の不安軽減を図るため、訪問や面談等を通して心身の健康や生活・育児に関する相談支援を実施する。また、避難先市町村で切れ目ない支援を受けることができるよう、適切な支援体制整備に向けて避難元と避難先の市町村の調整を行う。

#### ◆令和4年度実績・成果

支援を要する家庭の育児、生活状況を把握し、課題の整理及び今後の支援方針を避難元町村とともに整理した。

訪問支援（13名）、電話相談支援（17名）、来所支援（1名）

### 【市町村妊娠出産包括支援推進事業】（相双保健福祉事務所）

市町村事業及び会議等参加を通して、各市町村の取組状況を確認する。また、市町村と課題等を共有し、対応策等を検討する。

#### ◆令和4年度実績・成果

- (1) 市町村乳幼児健診への支援回数（19回）
- (2) 要保護児童対策協議会への参加回数（4回）
- (3) 地域自立支援協議会への参加回数（7回）
- (4) 子育て世代包括支援センター（設置済市町村数12、未設置市町村0）

### 【地域医療体験研修】（相双保健福祉事務所）

医師の確保・定着を目的として、医療機関や被災地の視察及び地域住民との交流等を通して、相双地域の医療や復興の現状について理解を深めてもらうために研修を行う。

市町村妊娠出産包括支援推進事業



地域医療体験研修



◆令和4年度実績・成果

福島県立医科大学医学部生 9 名を対象に医療施設での講話や見学を通じ、相双地域での医療について関心を高める研修を実施した。

【道路橋りょう改良事業（県単）】（相双建設事務所）

南相馬市が進める小高 SIC 事業を支援するため、IC 入口の県道へ右折レーンを整備する。

◆令和4年度実績・成果

中ノ内小高線（南相馬市）：路線測量 L=0.2km、交差点詳細設計

地域の主な課題

地域懇談会(地域住民)の意見

今後の方向性

課題1 計画本文から転記

- 医療・介護・福祉提供体制などの生活環境の整備
- 観光客数回復・物産品認知度向上、インバウンド対応
- 地域活性化に向けたインフラ整備と地域連携のための道路ネットワークの構築

- 医療機関や高齢者施設における感染症対策への支援が必要
- 交流人口拡大施策と移住施策の連携による情報発信の充実強化が必要
- 趣向を凝らした交流人口拡大施策の継続展開が必要

- 感染対策に係る助言を行うほか、物資等の継続支援を検討
- 相互リンク等による相双地方魅力発信サイトと各移住関連サイトとの連携を図る
- 相双地域の魅力を活かした交流人口拡大施策に取り組む

課題2 計画本文から転記

- 新産業の集積・振興、持続可能な産業の創出と地域を支える既存産業の支援
- 福島イノベ構想に対応した復興を担う産業人材や医療・福祉従事者の確保・育成
- 相馬港の機能強化やインフラ整備による物流基盤強化

- 地域の魅力に触れる機会提供による地域を担う人材育成、若者の定着促進施策が必要

- 高校生向け地元就職支援や小中学生向け職業社会体験事業に引き続き取り組む

課題3 計画本文から転記

- 農林水産業の再生、風評払拭に向けた情報発信、農林水産物の魅力向上・競争力強化
- 過疎・中山間地域の産業再生、地域振興、伝統的な食文化等の継承

- 移住農業者への儲かる農業の実現に向けた定着支援が必要
- あぶくま地域の広域連携と強みを活かした振興施策が必要

- 新規就農者への定着化に向けた支援等に取り組む
- 広域連携による地域活性化と地域ブランド化に取り組む

課題4 計画本文から転記

- 学校教育環境の充実、被災児童生徒への支援
- 子育て支援体制、市町村の健康支援体制、医療・福祉提供体制の構築
- 先端技術の活用など、新たな社会基盤の構築

- 教員の適正配置、加配教員の配置が必要
- 核家族化に対応した子育て環境充実への支援が必要
- 小児医療提供体制の改善・充実が必要
- 高齢者が地域で元気に暮らすための社会資源の創出が必要
- 福祉人材確保施策の継続と更なる充実が必要

- 児童生徒数に応じた教職員定数を配置するとともに、復興推進加配等の配置に取り組む
- 保育所等の設置・再開支援等子育て支援に引き続き取り組む
- 病院や診療所の再開・開設の検討・支援に取り組む
- 市町村と連携した地域包括ケアの構築に引き続き取り組む
- 支援金や貸付金等の人材確保施策の継続や拡充を検討

地域の名称 **いわき地域**

いわき地域の  
目指す方向性

幅広い世代と多様な主体が活躍し、広域性・多様性をいかした地域内外の交流  
拡大を図るとともに、震災と復興の経験をいかした安全・安心な暮らしの形成  
と、産業の発展を目指します。

主要施策の進捗状況

**【施策1】 技術と人材をいかした産業の振興**

**【「10年後のいわきを支える若者を育てる」事業】**

将来のいわき市を支える担い手を確保することを目的として、市内在住及び出身の学生等に向け、市内の優れた企業や団体を知ってもらう事業を実施した。

① 高校生向け市内企業訪問等支援事業

市内の高校生へ向け、企業の訪問見学「いわき発見ゼミ」を実施。

参加校：4校、生徒数：820名、企業数：48社

② オンライン企業広報等支援事業

市内在住及び出身の学生等に向け、幅広くいわき市内の企業・団体等を知ってもらうための会社見学サイト「いわ知ル」を作成。

掲載企業数：33社（令和5年3月29日時点）

③ いわき地域企業魅力発信強化事業

高校生以上に向け、国内トップシェアの企業の紹介等を掲載した「みつけた！いわき 企業ナビブック」を作成。市内の高校・高専・大学、首都圏大学就職支援協定校向けに冊子の配布及び電子書籍のURLを周知。

掲載企業数：7社 冊子配布数：1,000冊

**【ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業】**

新規就農者の育成・確保に向け、いわき地域新規就農者等推進会議を設置し、いわき地域就農支援センターとともに新規就農者等の情報共有やリモート相談に対応した。

◆ 就農相談件数 73件

新規就農者数（自営・雇用）49人

新規就農者数（重点支援）4人

**【福島県産水産物競争力強化支援事業（新商品開発・ブランド強化促進委託事業）】**

魅力的な水産加工品を開発するため、加工業者グループから優れた商品開発アイデアを募集し、開発費の助成により即戦力となるブランド商品の開発を促進した。

◆ 開発数 5品（お手軽ちぎり揚げ、さかなは土台パクパク離乳食など）

**【未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業「理数コンテスト」】**

算数・数学ジュニアオリンピックを3年ぶりに実施した。いわき城内小・中学校から金メダル受賞者を輩出した。科学の甲子園ジュニア福島県大会に、いわき城内から磐城緑陰中学校の1チームが参加した。

◆ 金メダル受賞者 小・中学校各1名（県内小学校2名・中学校1名受賞）

いわき発見ゼミ



いわ知ル



新規就農相談会



お手軽ちぎり揚げ



さかなは土台パクパク離乳食



### 【福島イノベ構想に基づく水産業先端技術展開事業】

① 効率的な操業を支援するため、底びき網漁船9隻、小型漁船17隻（内いわき地区の底びき網漁船2隻）へ底水温計及びデジタル操業日誌を導入した。

◆H30以降の累計：底びき網漁船13隻、小型漁船29隻  
（内いわき地区底びき網漁船2隻、小型漁船9隻）

② 魚の脂質含量（脂の乗り）を迅速に測定し、その情報を付与して流通させることで付加価値向上を図るため、ハンディ型近赤外分光装置によるサバ類の測定手法を確立した。

### 【ふ頭埋立造成事業、荷役機械建造事業（コンテナターミナル機能強化事業）】

安定したコンテナ荷役機能を確保するため、小名浜港大剣地区のコンテナターミナルにおいてコンテナヤード舗装改良工事を推進し、コンテナクレーン建造工事及びクレーンレール延伸工事に着手した。

サバの脂肪分測定



コンテナクレーン



大学自転車部合宿



モニターツアー



健康講座



チャレンジライフ事業



### 【施策2】多様な地域資源を活用した地域間連携による関係・交流人口の拡大

#### 【いわきの強みを活かした持続可能な地域づくり事業】

首都圏の強豪大学自転車部を対象に、いわきでの合宿に係る誘致活動を行ったほか、いわき市内の中山間地域等において、パンク修理等の応急修理のできるサイクル拠点を整備した。

◆大学自転車部による合宿：3校延べ4回  
（日本大学2回、日本体育大学、明治大学）

◆拠点3カ所整備（いわきの里鬼ヶ城、田人おふくろの宿、ワンダーファーム）

「いわきの地域振興に役立ちたい」との思いを持つ市内進出企業の県外出身社員等を対象に、いわきの地域資源や歴史等を体感できるモニターツアーに参加していただき、社内報等によりいわきの魅力を広く発信していただいた。

◆モニターツアー実施：参加企業4社、合計10回実施

#### 【「里山を自転車で楽しみながら健康になろう」事業】

「サイクリングを楽しみながら健康になること」をテーマにしたモニター事業を実施し、その効果を確認、新聞等で周知を図った。また、いわきの強みを活かした持続可能な地域づくり事業において整備したサイクル拠点を中心に、サイクリングを行うミニイベントを実施し、中山間地域等の交流人口の拡大を図った。

◆男女9名対象に約4ヶ月間実証実験を実施し、その効果について福島民報の紙面45段分で周知した

◆サイクルミニイベント8回実施、106人参加

#### 【ふくしまチャレンジライフ推進事業（いわき地域）】

いわき地域に関心のある県外在住者を対象に、地域ディレクターにより3泊4日を基本としたいわきの自然や食、その土地ならではの体験を組み込んだプログラムを実施。人と人との繋がりが重視されたプログラムを通し、参加者と地域を繋ぐきっかけを構築した。

◆地域ディレクター数：12名、実施プログラム数：18プログラム  
参加者のべ人数：43名

### 【交付金事業（道路）】

国道 399 号（十文字工区）は、いわき市と双葉郡の中山間地域を結ぶ重要な幹線道路であり、東日本大震災からの復旧・復興や避難解除区域等の住民の帰還を促進し、地域の持続可能な発展を促す福島県復興計画に『ふくしま復興再生道路』として位置づけられていることから、延長 6.2km のバイパスを整備する事業に平成 23 年度から着手し、令和 4 年 9 月 17 日に開通した。

### 【交付金事業（港湾）（クルーズ船受入環境整備）】

小名浜港において大型クルーズ船を受け入れるため、3 号ふ頭岸壁の改良工事を推進した。

◆R4 実績：係船柱 4 基（R3 まで 防舷材 7 基、係船柱 3 基）

国道399号 十文字工区



3号ふ頭岸壁改良工事



クリスマスマーケット開催事業



農林業体験ツアー



鳥獣害モデル地区現地検討会



多面的機能支払交付事業（植栽）



生き物調査



## 【施策3】持続可能な地域づくりに向けた幅広い世代と多様な人材、団体、企業等の活躍の場の創出

### 【地域創生総合支援事業（サポート事業）】

民間団体や市町村が実施する地域振興のための取組に対し補助金を交付した。

◆採択件数 11 件

補助額 32,428 千円（実績額）、35,200 千円（当初交付決定額）

### 【地域創生総合支援事業（過疎・中山間地域振興事業）】

県内の大学生等を対象とした体験ツアー「農山村地域の魅力を発見！体験ツアー in いわき田人・遠野」を実施し、交流人口の創出を図った。

◆参加人数 12 名

### 【鳥獣被害対策強化事業】

被害の大きいイノシシ等を対象に、市町村が行う獣害対策を支援し、農作物被害の防止を図った。

#### ①有害捕獲活動支援

- ・狩猟免許の取得支援 2 人
- ・イノシシ用箱わな導入 6 基
- ・イノシシの捕獲 620 頭

#### ②施設整備地区における対策支援（2 地区）

- ・侵入防止柵の設置 3.8ha（総延長 1,300m）

### 【多面的機能支払交付金事業】

過疎化・高齢化等に伴い集落機能が低下しつつある中、農業農村が有する国土保全、水源涵養、良好な景観の形成などの多面的機能を維持發揮するため、農地・農業用施設を適切に保管理する共同活動の支援を行った。

◆支援件数 48 組織

### 【「ふくしまの農育」推進事業】

身近な自然環境の大切さを学んでもらうため、小学生を対象とした水辺の生き物調査を実施した。

◆実施校 勿来第三小学校（7 名）

### 【森林づくり総合対策事業】

広い世代を対象とした県民参加による森林活動をより一層推進するため、森林づくり意識を醸成する活動を自主的に行う森林ボランティア4団体による森林整備活動・緑化活動を支援した。

◆いわき管内参加者数 5,490名

### 【施策4】 震災と復興の経験をいかした安全で安心して暮らせる生活基盤の充実

#### 【被災者健康サポート事業】

復興公営住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持していけるよう、避難元市町村及びいわき市と連携しながら、健康支援活動の実施体制を整備するとともに、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた健康支援活動を実施し、住民の健康問題の解決や不安軽減、健康維持・管理の意識を高めた。また、関係機関が抱える問題や支援体制確保のための課題などについて、情報共有や課題検討を行った。

##### ◆家庭訪問等

訪問人数：借上住宅・自宅 延べ247人

復興公営住宅 延べ145人

個別相談 延べ68人

##### ◆健康教育・健康相談等の実施支援

実施回数：延べ25回

参加人数：延べ967人

##### ◆市町村事業への協力支援

特定保健指導支援者数：86人

##### ◆被災した障がい児・者の健康支援に係る関係機関との連携

双葉地方地域自立支援協議会こども部会への参画：3回

#### 【治山施設事業（県営）】

荒廃地等の整備を行うことにより、山地災害の防止を図った。

◆R4実績：床固工 1.0基、谷止工 1.0基、山腹工 2.0箇所

#### 【令和元年災の災害復旧事業】

令和元年東日本台風等による、いわき市内の河川や道路などの公共施設箇所の復旧工事を行い、いわき管内災害復旧箇所247箇所全て完了した。

◆R4実績：15箇所完了（令和5年3月末）

#### 【河川災害復旧助成事業（夏井川、好間川）】

令和元年東日本台風等の影響により甚大な被害が発生した夏井川、好間川の流下能力向上のため、河道掘削及び護岸工、樋門工等を実施した。

##### ◆河道掘削工事（掘削工、護岸工）

夏井川14工区、好間川3工区

##### ◆好間川の金子沢、渋井川の樋門工に着手

#### 【赤井取水場浸水対策工事】

台風19号により、好間工業用水道に送水するための赤井取水場が浸水し、企業への送水が不能となったことから、工業用水の安定供給を図るため、浸水対策として、止水壁やポンプ室の耐水化、弁の電動化等の工事を完了した。

◆好間工業用水道をいわき市に譲渡（令和4年10月1日）

#### 里山の会作業状況



#### 健康教育



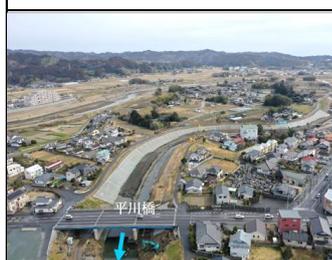
#### 治山施設事業（下毛地区）



#### 令和元年災の災害復旧事業 鮫川



#### 河川災害復旧助成事業 夏井川



#### 赤井取水場浸水対策工事



## 地域の主な課題

## 地域懇談会(地域住民)の意見

## 今後の方向性

### 課題1 自律的・持続的な産業の発展

- 再生可能エネルギー等の導入推進、いわきバッテリーバレー構想等の更なる推進
- 福島イノベーション・コースト構想についての長期的視点に立った取組
- 商工業・農林水産業の持続的な経営基盤の強化
- 原子力災害の影響による農林水産物の風評払拭、販路の回復・拡大
- 産業の担い手の確保・育成
- 効率的な物流網の整備

- 国際港湾として、小名浜港で水素やアンモニアの輸入や移入を行う脱炭素・脱石炭へのロードマップの早期作成が必要。
- 学生が地域課題に取り組む実践型プログラムは非常に重要であるため、今後の取組の拡大が必要。

- 小名浜港においては、令和4年度に小名浜港関係者で構成する小名浜港脱炭素化推進協議会を立ち上げており、今後、港湾脱炭素推進計画を作成することとしています。
- いわきアカデミア推進協議会等を通じた活動を進化させながら、引き続き次世代を担う人材育成に取り組めます。

### 課題2 地域の広域性・多様性をいかした交流の促進

- いわき地域の特色を有効に活用するための連携した取組
- 震災後減少した観光交流人口の回復・拡大のための観光客受入体制の充実
- 地域づくりの担い手となる人材の育成、情報発信の強化による地域外との交流

- 海・街・山など、それぞれの地域の特性に応じて、単一的ではなく、各地域の歴史的・文化的な宝物を再確認しながら、まちづくりをしていくことが必要。
- そこに住む住民が住みたいと思えるまちづくりに、住民自身が参画できることが重要。

- 地域の魅力を再発見し、多様な地域の特徴をいかしながら、多くの方々が魅力を感じる地域づくりに取り組めます。
- 様々な立場の住民の方が主体的に取り組む地域づくりの活動を支援します。

### 課題3 幅広い世代と多様な人材、団体、企業等の活躍の促進

- 地域の担い手不足等への対応
- 多様な人材が共生しながら地域に定着し、安心して暮らせる環境づくり
- 魅力ある地域の創造を目指す「共創」のまちづくりの更なる推進
- 地域社会の維持に向けた取組の支援

- 福島大学食農学類の学生の研修等をいわきで行えば、学生の就農につながるような仕組みを作ることができ、いわき地域全体の農業の維持につながる。
- 少子化が進むなか、学校の統廃合等により行政施設が遊休化していくことになるが、こうした施設をどう活用していくかが課題。

- いわきでの研修を福島大学側でも検討したが、移動時間等の問題があり困難。教育機関と連携した就農促進については、県立磐城農業高校や農業短期大学の学生を対象とした農家研修を実施しており、新規就農者の確保に向けた取組を推進します。
- 人口減少が進む中での県立高校の統廃合については、効率性だけでなく、市町村による地域のニーズに応じた利活用の促進を支援します。

### 課題4 震災と復興の経験をいかした安全で安心な暮らしの形成

- 河川整備等のハード対策と避難等のソフト対策を組み合わせた防災力の強化
- 既存インフラ・震災後に整備されたインフラの維持管理と利活用
- 医療提供体制の確保に向けた取組
- 原子力災害による避難者と地域住民とのコミュニティの形成・維持に向けた地域の実情に応じた
- 原子力災害により避難している住民に対する、避難自治体と受入自治体双方のきめ細かに連携した取組の実施

- 福島県建設業協会いわき支部は26社の会員がいるが、隣の双葉郡内は建設業協会会員がゼロであり、災害時の緊急対応が必要な場合は、エリアの枠を越えて救援に行く必要がある。  
また、災害から地域を守り安心・安全を確保していくためには、維持工事等の包括契約の促進が必要。

- 維持工事の包括契約については、建設業界における担い手不足、財政的制約等の課題を抱える中で、社会インフラの適切な維持管理によるサービス水準の確保を図るとともに、受注者側にとっても業務計画を立てやすくなり業務が平準化される等有効であり、建設業界の関係団体等と意見交換しながら、制度構築について検討します。